

大島海洋国際高校 令和2年度 国語総合 年間授業計画

教科:(国語)科目:(国語総合) 対象:(第1学年A組~B組) 4単位

教科担当者:教科担当者 現代文分野(A・B組加藤篤志) 古典分野(発展:須賀建明)(標準:加藤篤志)(基礎:竹内聖人)

使用教科書:高等学校国語総合(明治書院)

使用教材:LT現代文 LT基本(浜島書店)、完全マスター古典文法(第一学習社)、新訂総合国語便覧(第一学習社)、パーフェクト常用漢字(第一学習社)

指導内容 【年間授業計画】	国語総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
【課題学習】		【課題学習】	
4月 ①現代文分野 評論「水の東西」 ②古文分野 「古文入門」	①基本的な評論文の読み解き方を理解させる。また、二項対立の構成をとりながら順を追って論を積み上げていく展開の仕方を理解させる。 ②歴史的仮名遣い、ことばと単位(文章・文・文節・単語)、品詞について理解させる。	関心・意欲・態度	4相当
①現代文分野 評論「水の東西」 ②古文分野 「古文入門」	①基本的な評論文の読み解き方を理解させる。また、二項対立の構成をとりながら順を追って論を積み上げていく展開の仕方を理解させる。 ②歴史的仮名遣い、ことばと単位(文章・文・文節・単語)、品詞について理解させる。	関心・意欲・態度	2相当
【課題学習】		【課題学習】	
5月 ①現代文分野 小説「羅生門」 ②古文分野 「児のそら寝」	①登場人物の心情とその変化を読み取る。また、人物や情景の描写の特徴、比喩によるイメージの喚起力など、小説の表現効果に注意して、作品を味わう。 ②歴史的仮名遣いや、ことばの単位に留意しながら、古文に慣れ親しみ、ストーリーのおもしろみを理解する。	関心・意欲・態度 プリント課題提出	2相当
①現代文分野 小説「羅生門」 ②古文分野 「児のそら寝」	①登場人物の心情とその変化を読み取る。また、人物や情景の描写の特徴、比喩によるイメージの喚起力など、小説の表現効果に注意して、作品を味わう。 ②歴史的仮名遣いや、ことばの単位に留意しながら、古文に慣れ親しみ、ストーリーのおもしろみを理解する。	関心・意欲・態度 プリント課題提出	4相当
①現代文分野 小説「羅生門」 ②古文分野 「児のそら寝」	①登場人物の心情とその変化を読み取る。また、人物や情景の描写の特徴、比喩によるイメージの喚起力など、小説の表現効果に注意して、作品を味わう。 ②歴史的仮名遣いや、ことばの単位に留意しながら、古文に慣れ親しみ、ストーリーのおもしろみを理解する。	関心・意欲・態度 プリント課題提出	4相当
①現代文分野 評論「美意識は資源である」 ②古文分野 「動詞の活用」	①筆者の体験に裏付けられた主張の根拠や、主張から生まれる展望について読む力を身につけさせる。また、筆者の主張に対する自分の意見を持つ力を身につけさせる。 ②正格活用動詞の活用の種類、それぞれの活用の仕方を理解させる。	関心・意欲・態度 プリント課題提出	4相当
6月 【Web授業】 ①現代文分野 評論 「美意識は資源である」 ②古文分野「動詞の活用」	①筆者の体験に裏付けられた主張の根拠や、主張から生まれる展望について読む力を身につけさせる。また、筆者の主張に対する自分の意見を持つ力を身につけさせる。 ②正格活用動詞の活用の種類、それぞれの活用の仕方を理解させる。	関心・意欲・態度 プリント課題提出	4相当
①現代文分野 評論「美意識は資源である」 ②古文分野 「動詞の活用」	①筆者の体験に裏付けられた主張の根拠や、主張から生まれる展望について読む力を身につけさせる。また、筆者の主張に対する自分の意見を持つ力を身につけさせる。 ②正格活用動詞の活用の種類、それぞれの活用の仕方を理解させる。	関心・意欲・態度 プリント課題提出	Web2
①現代文分野 評論「美意識は資源である」 ②古文分野 「動詞の活用」	①筆者の体験に裏付けられた主張の根拠や、主張から生まれる展望について読む力を身につけさせる。また、筆者の主張に対する自分の意見を持つ力を身につけさせる。 ②正格活用動詞の活用の種類、それぞれの活用の仕方を理解させる。	関心・意欲・態度 プリント課題提出	Web2
①現代文分野 小説「鏡」 ②古文分野 「かぐや姫の生ひ立ち」	①作品の構造や巧みな比喩表現など作者による工夫を読み解くことで、「語り」構成の正確さ、日本語表現の巧みさなど、小説のおもしろさを理解する。 ②また、古語の意味を正しくふまえて、文章の内容を理解し、登場人物の行動と心情を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力 ノート、プリント	Web2
①現代文分野 小説「鏡」	①作品の構造や巧みな比喩表現など作者による工夫を読み解くことで、「語り」構成の正確さ、日本語表現の巧みさなど、小説のおもしろさを理解する。 ②また、古語の意味を正しくふまえて、文章の内容を理解し、登場人物の行動と心	関心・意欲・態度	

	②古文分野 「かぐや姫の生ひ立ち」	①作品の構造や巧みな比喻表現など作者による工夫を読み解くことで、「語り」構成の正確さ、日本語表現の巧みさなど、小説のおもしろさを理解させる。 ②また、古語の意味を正しくふまえて、文章の内容を理解し、登場人物の行動と心情を理解させる。	プリント課題提出	Web2
7月	【通常授業】 ①現代文分野 小説「鏡」 ②古文分野 「かぐや姫の生ひ立ち」	①作品の構造や巧みな比喻表現など作者による工夫を読み解くことで、「語り」構成の正確さ、日本語表現の巧みさなど、小説のおもしろさを理解する。 ②また、古語の意味を正しくふまえて、文章の内容を理解し、登場人物の行動と心情を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力・書く力 話す力・聞く力 ワークシート	4
8月	【登校】【Web授業】 ①現代文分野 小説「鏡」 ②古文分野 「かぐや姫の生ひ立ち」	①作品の構造や巧みな比喻表現など作者による工夫を読み解くことで、「語り」構成の正確さ、日本語表現の巧みさなど、小説のおもしろさを理解する。 ②また、古語の意味を正しくふまえて、文章の内容を理解し、登場人物の行動と心情を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力・書く力 話す力・聞く力 ワークシート	6 Web4
9月	【以降通常授業】 ①現代文分野 詩「鶯のうへ」「ふと」、短歌 ②古文分野 伊勢物語「芥川」	①表現技法について理解したうえで、それぞれの詩にこめられた言葉の意味やリズムを味わう。また、短歌の五音、七音の基本韻律にどのような心情やイメージが表現されているか甘受する力を養う。 ②物語のなかにある和歌の役割を確認し、歌物語の鑑賞の仕方を学ぶ。また、変格活用動詞の活用の種類、それぞれの活用の仕方を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力 ノート、プリント	4
	①現代文分野 詩「鶯のうへ」「ふと」、短歌 ②古文分野 伊勢物語「芥川」	①表現技法について理解したうえで、それぞれの詩にこめられた言葉の意味やリズムを味わう。また、短歌の五音、七音の基本韻律にどのような心情やイメージが表現されているか甘受する力を養う。 ②物語のなかにある和歌の役割を確認し、歌物語の鑑賞の仕方を学ぶ。また、変格活用動詞の活用の種類、それぞれの活用の仕方を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力 ノート、プリント	4
10月	①現代文分野 詩「鶯のうへ」「ふと」、短歌 ②古文分野 伊勢物語「芥川」	①表現技法について理解したうえで、それぞれの詩にこめられた言葉の意味やリズムを味わう。また、短歌の五音、七音の基本韻律にどのような心情やイメージが表現されているか甘受する力を養う。 ②物語のなかにある和歌の役割を確認し、歌物語の鑑賞の仕方を学ぶ。また、変格活用動詞の活用の種類、それぞれの活用の仕方を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力 ノート、プリント	4
	①現代文分野 評論「マンモスの歩いた道」 ②古文分野 徒然草「つれづれなるままに」	①筆者の主張とその根拠を意識させることにより、論理の流れを意識する力を身につけさせる。また、科学的な態度やものの見方の特徴を捉えさせる。 ②随筆を書く筆者の動機や価値観を理解させる。形容詞、形容動詞の活用の仕方を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力 ノート、プリント	4
	①現代文分野 評論「マンモスの歩いた道」 ②古文分野 徒然草「つれづれなるままに」	①筆者の主張とその根拠を意識させることにより、論理の流れを意識する力を身につけさせる。また、科学的な態度やものの見方の特徴を捉えさせる。 ②随筆を書く筆者の動機や価値観を理解させる。形容詞、形容動詞の活用の仕方を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力 ノート、プリント	4
	①現代文分野 評論「マンモスの歩いた道」 ②古文分野 徒然草「つれづれなるままに」	①筆者の主張とその根拠を意識させることにより、論理の流れを意識する力を身につけさせる。また、科学的な態度やものの見方の特徴を捉えさせる。 ②随筆を書く筆者の動機や価値観を理解させる。形容詞、形容動詞の活用の仕方を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力 ノート、プリント	4
11月	①現代文分野 小説「富岳百景」 ②古文分野 伊勢物語「東下り」・助動詞の用法	①「私小説」とはどのようなものか理解する。また、主人公の心理的推移を、対象との関わりをふまえて理解させる。 ②助動詞「けり」「り」「たり」の用法を理解させ、それを踏まえて文章を読解する能力を身につけさせる。	関心・意欲・態度 読む力・書く力 話す力・聞く力 ワークシート グループワーク	4
	①現代文分野 小説「富岳百景」 ②古文分野 伊勢物語「東下り」・助動詞の用法	①「私小説」とはどのようなものか理解する。また、主人公の心理的推移を、対象との関わりをふまえて理解させる。 ②助動詞「けり」「り」「たり」の用法を理解させ、それを踏まえて文章を読解する能力を身につけさせる。	関心・意欲・態度 読む力・書く力 話す力・聞く力 ワークシート グループワーク	2
	①現代文分野 小説「富岳百景」 ②古文分野 伊勢物語「東下り」・助動詞の用法	①「私小説」とはどのようなものか理解する。また、主人公の心理的推移を、対象との関わりをふまえて理解させる。 ②助動詞「けり」「り」「たり」の用法を理解させ、それを踏まえて文章を読解する能力を身につけさせる。	関心・意欲・態度 読む力・書く力 話す力・聞く力 ワークシート グループワーク	4
	①現代文分野 評論「世界中がハンバーガー」 ②古文分野 伊勢物語「東下り」	①接続詞に留意しながら文章の構成を把握し、筆者の論理の展開に即して筆者の主張を読み取らせる。 ②登場人物の心情と和歌との関係に留意し、物語を鑑賞する力を身につけさせる。	関心・意欲・態度 読む力 ノート・プリント	4
	①現代文分野 評論「世界中がハンバーガー」	①接続詞に留意しながら文章の構成を把握し、筆者の論理の展開に即して筆者の主張を読み取らせる。 ②登場人物の心情と和歌との関係に留意し、物語を鑑賞する力を身につけさせる。	関心・意欲・態度 読む力	

	パーカー」 ②古文分野 伊勢物語「東下り」			4
1 2 月	①現代文分野 評論「世界中がハンパーカー」 ②古文分野 伊勢物語「東下り」	①接続詞に留意しながら文章の構成を把握し、筆者の論理の展開に即して筆者の主張を読み取らせる。 ②登場人物の心情と和歌との関係に留意し、物語を鑑賞する力を身につけさせる。	関心・意欲・態度 読む力	2
1 月	①現代文分野 評論「思われると考える」 ②古文分野 徒然草「花は盛り」に」助動詞の用法	①「思われる」も「考える」という思考の形態を表す言葉に関する文章を通して、筆者の主張を読みとる力を身につけさせる。 ②「ず」「ぬ」「べし」「なり」の助動詞の用法をふまえたうえで文章の内容を把握させ、自然の事物に対する作者の主張や価値観を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力、書く力 ノート、プリント	2
	①現代文分野 評論「思われると考える」 ②古文分野 徒然草「花は盛り」に」助動詞の用法	①「思われる」も「考える」という思考の形態を表す言葉に関する文章を通して、筆者の主張を読みとる力を身につけさせる。 ②「ず」「ぬ」「べし」「なり」の助動詞の用法をふまえたうえで文章の内容を把握させ、自然の事物に対する作者の主張や価値観を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力、書く力 ノート、プリント	4
	①現代文分野 評論「思われると考える」 ②古文分野 徒然草「花は盛り」に」助動詞の用法	①「思われる」も「考える」という思考の形態を表す言葉に関する文章を通して、筆者の主張を読みとる力を身につけさせる。 ②「ず」「ぬ」「べし」「なり」の助動詞の用法をふまえたうえで文章の内容を把握させ、自然の事物に対する作者の主張や価値観を理解させる。	関心・意欲・態度 読む力、書く力 ノート、プリント	4
	①現代文分野 小説「ひよこの眼」 ②古文分野 「漢文入門」	①登場人物の台詞や動作、描写等を細かく読み解くことで、登場人物の心情の変化を読み解く。 ②送り仮名や返り点の使い方を理解させ、書き下し文を正しく書けるようにする。	関心・意欲・態度 読む力、書く力 話す力・聞く力 ワークシート グループワーク	4
2 月	①現代文分野 小説「ひよこの眼」 ②古文分野 「漢文入門」	①登場人物の台詞や動作、描写等を細かく読み解くことで、登場人物の心情の変化を読み解く。 ②送り仮名や返り点の使い方を理解させ、書き下し文を正しく書けるようにする。	関心・意欲・態度 読む力、書く力 話す力・聞く力 ワークシート グループワーク	2
	①現代文分野 小説「ひよこの眼」 ②古文分野 「漢文入門」	①登場人物の台詞や動作、描写等を細かく読み解くことで、登場人物の心情の変化を読み解く。 ②送り仮名や返り点の使い方を理解させ、書き下し文を正しく書けるようにする。	関心・意欲・態度 読む力、書く力 話す力・聞く力 ワークシート グループワーク	2
	①現代文分野 小説「ひよこの眼」 ②古文分野 「漢文入門」	①登場人物の台詞や動作、描写等を細かく読み解くことで、登場人物の心情の変化を読み解く。 ②送り仮名や返り点の使い方を理解させ、書き下し文を正しく書けるようにする。	関心・意欲・態度 読む力、書く力 話す力・聞く力 ワークシート グループワーク	4
	①現代文分野 「意見文を書く」 ②古典分野 故事「守株」	①自身の主張を、客観的な根拠をもって述べられるようにする。 ②漢文の訓読法をふまえて、文章の内容や登場人物の心情を理解する力を身につけさせる。	関心・意欲・態度 読む力、書く力 プリント・ノート	4
3 月	①現代文分野 「意見文を書く」 ②古典分野 故事「守株」	①自身の主張を、客観的な根拠をもって述べられるようにする。 ②漢文の訓読法をふまえて、文章の内容や登場人物の心情を理解する力を身につけさせる。	関心・意欲・態度 読む力、書く力	4

教科担当者:(A組:高沼◎)(B組:高沼◎)

使用教科書:東京書籍 現代社会

使用教材 :世の中の動きに強くなる ライブ!現代社会2020

	指導内容 【年間授業計画】	科目現代社会の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月	<p>【課題学習】</p> <p>第1部 わたしたちの生きる社会</p> <p>テーマ1 地球環境問題</p> <p>テーマ2 資源・エネルギー問題</p>	<p>【課題学習】</p> <p>第1部 わたしたちの生きる社会</p> <p>テーマ1 地球環境問題 地球環境問題の現状およびその対策について、多面的に理解するとともに、持続可能な開発に向けた課題について考察する。</p> <p>テーマ2 資源・エネルギー問題 化石燃料の特性とともに、エネルギー革命、それ以降のエネルギー利用の変化、原子力発電所の動向と課題、エネルギー問題の特性とその解決に向けた取り組みについて考察する。</p>	<p>課題学習</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>【知識・理解】</p>	<p>課題学習</p> <p>4相当</p>
5月	<p>【課題学習】</p> <p>第1部 わたしたちの生きる社会</p> <p>テーマ3 科学技術の発達と生命</p> <p>テーマ4 情報化の進展と生活</p>	<p>【課題学習】</p> <p>第1部 わたしたちの生きる社会</p> <p>テーマ3 科学技術の発達と生命 医療技術の発展が生命に関する倫理的課題をもたらしていることを具体的な事例を通じて理解する。</p> <p>テーマ4 情報化の進展と生活 情報化の進展が生活や社会の変化におよぼした影響を理解し、情報化社会の課題や未来について考察する。</p>	<p>学習課題</p> <p>学習課題回収</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・提出状況</p> <p>【知識・理解】</p> <p>・提出物の正答率</p>	<p>課題学習</p> <p>4相当</p>
6月	<p>【課題学習】</p> <p>第2部 現代の社会と人間</p> <p>第1章 青年期と自己形成の課題</p> <p>1 現代社会と青年の生き方</p> <p>①現代社会と青年</p> <p>②青年期の発達課題</p> <p>【web授業】</p> <p>4・5月の課題学習の内容補填、解説</p> <p>③自己形成と社会の関わり方</p> <p>④進路と生きがいの創造</p>	<p>【課題学習】</p> <p>第2部 青年期と自己形成の課題</p> <p>第1章 青年期と自己形成の課題</p> <p>1 現代社会と青年の生き方</p> <p>①現代社会と青年 グローバル化や少子高齢化と人口減少の進展について具体的に理解し、これらの動きと関連させて自らのキャリアを含めた生き方について、主体的に考察する。</p> <p>②青年期の発達課題 青年期の心理的・社会的な特色を理解すると同時に、現代社会に特有の青年のあり方について考える。</p> <p>【web授業】</p> <p>4・5月の課題学習の補填・解説を行う。</p> <p>③自己形成と社会の関わり方 欲求と適応行動、防衛機制の意味について理解し、青年期におけるパーソナリティの形成の意義や課題について考察する。</p> <p>④進路と生きがいの創造 キャリアとキャリア開発の意義について理解し、進路の選択と学習や経験の役割や生きがいとの関係について考察する。</p>	<p>学習課題</p> <p>学習課題回収</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・提出状況</p> <p>【知識・理解】</p> <p>・提出物の正答率</p> <p>Web授業</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>・取り組み姿勢</p>	<p>課題学習</p> <p>4相当</p> <p>Web授業</p> <p>3回</p>

7月	<p>【通常授業】 第2部 現代の社会と人間 第1章 青年期と自己形成の課題 2 よりよく生きることを求めて ①哲学と人間</p> <p>【web授業】 ②宗教と人間 ③近代科学の考え方 ④人間の尊厳 ⑤人間性の回復を求めて</p> <p>第1回考查</p>	<p>【通常授業】 第2部 青年期と自己形成の課題 第1章 青年期と自己形成の課題 2 よりよく生きることを求めて ①哲学と人間 よく生きることを追求したソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想、心のもち方やよりよい生き方を求めた孔子などの儒家、老子・荘子などの道家の思想を理解する。</p> <p>【web授業】 ②宗教と人間 宗教の意味について理解するとともに、三大世界宗教とよばれている仏教、キリスト教、イスラム教の人間観や考えについて理解する。 ③近代科学の考え方 ルネサンス以降の思想やペーコン、デカルトのものの考え方を学習することによって、近代の人間中心主義、合理的なものの考え方を理解する。 ④人間の尊厳 人間の尊厳を理性の働きによって説明したカントや理性の社会における具体化を主張したヘーゲル、幸福と正義のかかわりを考えたアダム・スミス、ベンサム、J.Sミルの思想について理解する。 ⑤人間性の回復を求めて 近代の合理主義を批判し、社会のしくみの改革を主張したマルクスの社会主義、人間の主体性の回復を求めた実存主義、その他主な現代思想</p>	<p>通常授業 【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況</p> <p>Web授業 【関心・意欲・態度】 ・取り組み姿勢</p> <p>第1回考查 【知識・理解】</p>	<p>通常授業 1回</p> <p>Web授業 3回</p> <p>考查 1回</p>
8月	<p>【web授業】 第2部 現代の社会と人間 第1章 青年期と自己形成の課題 2 よりよく生きることを求めて ⑥日本の伝統思想の考え方 ⑦外来思想の受容と日本人の自覚</p>	<p>【web授業】 第2部 青年期と自己形成の課題 第1章 青年期と自己形成の課題 2 よりよく生きることを求めて ⑥日本の伝統思想の考え方 「おのずから」のことばに示される日本人のものの考え方、八百万の神に示される神のとらえ方、清き明き心などの日本人の倫理観、日本的な仏教の形成について理解する。 ⑦外来思想の受容と日本人の自覚 江戸期における儒教や国学の考え方の特色を理解するとともに、明治以降の西洋思想をどのように受容したのか、またそのなかから生まれた独創的な思想について理解する。</p>	<p>Web授業 【関心・意欲・態度】 ・取り組み姿勢</p>	<p>Web授業 2回</p>
9月	<p>【以降通常授業】 第2部 現代の社会と人間 第2章 日本国憲法と民主政治 1 民主政治とは ①民主政治の成立 ②基本的人権の確立 ③世界の政治体制</p> <p>2 日本国憲法の基本原理 ①日本国憲法と三つの原理 ②基本的人権の保障(1)</p>	<p>第2部 現代の社会と人間 第2章 日本国憲法と民主政治 1 民主政治とは ①民主政治の成立 民主政治がヨーロッパで生まれた経緯や社会契約説、権力分立の思想、議会制民主主義の成立と仕組みについて理解する。 ②基本的人権の確立 基本的人権と法の支配の意義、憲法と立憲主義の役割、自由権から社会権へ向かう人権の歴史的展開について理解する。 ③世界の政治体制 議院内閣制と大統領制の特色を三権相互の関係等の視点から理解するとともに、社会主義国の政治体制について理解する。</p> <p>2 日本国憲法の基本原理 ①日本国憲法と三つの原理 大日本帝国憲法の性格を理解するとともに、日本国憲法が制定されるまでの経緯について学習し、日本国憲法の三大原理について理解する。 ②基本的人権の保障(1) 日本国憲法における人権保障の基本的な考え方や法の下での平等の意義、自由権的基本権について理解する。</p>	<p>【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況</p>	<p>通常授業 10回</p>
10月	<p>第2部 現代の社会と人間 第2章 日本国憲法と民主政治 2 日本国憲法の基本原理 ③基本的人権の保障(2) ④新しい人権と人権保障の広がり ⑤平和主義と安全保障(1) ⑥平和主義と安全保障(2)</p> <p>3 日本の政治機構 ①国会と立法</p>	<p>第2部 現代の社会と人間 第2章 日本国憲法と民主政治 2 日本国憲法の基本原理 ③基本的人権の保障(2) 社会権的基本権の意義、生存権、教育を受ける権利、勤労権などの意義と内容、基本的人権を実現するための権利について理解する。 ④新しい人権と人権保障の広がり 環境権、プライバシーの権利、知る権利、アクセス権、自己決定権などの新しい人権について、それらの性格を理解するとともに、人権保障の進展と課題について考察する。 ⑤平和主義と安全保障(1) 日本国憲法に定める平和主義の内容を確認し、日本の防衛と自衛隊のかかわり、安全保障に関する日本とアメリカとの関係について考察する。 ⑥平和主義と安全保障(2) 冷戦後の国際環境変化にともなう、自衛隊の性格の変化や安全保障に関する法整備の動きを理解するとともに、安全保障政策の課題について考察する。</p>	<p>【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況</p>	<p>通常授業 9回</p>

3 日本の政治機構

①国会と立法

三権の相互関係について理解し、国会の役割と権限、二院制をとっている国会の構成と運営、現状と改革の動きについて理解する。

11月	<p>第2部 現代の社会と人間 第2章 日本国憲法と民主政治 3 日本の政治機構 ②内閣と行政</p> <p>第2回考査</p> <p>③裁判所と司法 ④地方自治</p> <p>4 現代政治の特質と課題 ①選挙のしくみと課題 ②政党と利益集団</p>	<p>第2部 現代の社会と人間 第2章 日本国憲法と民主政治 3 日本の政治機構 ②内閣と行政 議院内閣制のしくみ、内閣の権限と国の行政組織を理解するとともに、行政にかかわる課題について考察する。</p> <p>第2回考査</p> <p>③裁判所と司法 訴訟の種類、司法権の独立の意義と内容、日本の裁判制度、「憲法の番人」としての最高裁判所、裁判員制度などの司法制度改革について理解する。 ④地方自治 民主政治における地方自治の意義を確認すると同時に、地方公共団体の組織と働きなどについて理解し、地方自治と国政との関係、住民の政治参加の意義などについて考察する。</p> <p>4 現代政治の特質と課題 ①選挙のしくみと課題 近代選挙の4原則、選挙制度の概要、日本の選挙制度のしくみについて理解し、「一票の格差」など選挙制度をめぐる課題について考察する。 ②政党と利益集団 民主政治における政党や利益集団の意義と役割、現状と課題について考察する。</p>	<p>【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況</p> <p>第2回考査 【知識・理解】</p>	<p>通常授業 6回</p> <p>考査 1回</p>
12月	<p>第2部 現代の社会と人間 第2章 日本国憲法と民主政治 4 現代政治の特質と課題 ③世論と政治参加</p> <p>第3章 現代社会と法 1 現代社会と法 ①法の働き ②社会生活と法 ③司法と人権</p> <p>第3回考査</p>	<p>第2部 現代の社会と人間 第2章 日本国憲法と民主政治 4 現代政治の特質と課題 【通常授業】 ③世論と政治参加 世論の意義を理解し、世論とメディアとの関係、大衆化した社会における政治意識などについて考察する。</p> <p>第3章 現代社会と法 1 現代社会と法 ①法の働き 法の特色、法の種類、法と道徳、法の支配の意味について理解する。 ②社会生活と法 家庭生活と法、私法における近代法の原則などを例に社会生活における法の意義を理解する。 ③司法と人権 刑事司法の意味や原則、刑事裁判の制度、裁判員制度について理解し、日本の司法と人権の課題について考察する。</p>	<p>【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況</p> <p>第3回考査 【知識・理解】</p>	<p>通常授業 6回</p> <p>考査 1回</p>
1月	<p>第2部 現代の社会と人間 第4章 現代の経済と国民福祉 1 経済のしくみ ①経済社会の変容 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと働き ⑥中央銀行の役割と金融の自由化 ⑦政府の役割と財政</p>	<p>第2部 現代の社会と人間 第4章 現代の経済と国民福祉 1 経済のしくみ ①経済社会の変容 産業革命などを契機に資本主義経済が成立したこと、アダム・スミスの考え、資本主義経済の変容と社会主義やケインズの理論、資本主義の現在について理解する。 ②現代の企業 経済主体の1つである企業の役割、企業の活動、株式会社の特色、国際化にともなう変化、企業の社会的責任について理解する。 ③市場経済のしくみ 財やサービスを価格の動きを通じて配分する市場のしくみ、寡占市場における価格の形成、独占禁止政策について理解する。 ④国民所得と経済成長 国の経済の指標であるGDPや国富などについて理解し、経済成長の意味や景気の変動と物価について理解する。 ⑤金融のしくみと働き 金融システムのしくみ、資金を融通する方法としての直接金融・間接金融、通貨制度、信用創造について理解する。 ⑥中央銀行の役割と金融の自由化 中央銀行の果たしている役割、金融政策の種類と働きについて理解し、金融の自由化・国際化の動きや背景について考察する。 ⑦政府の役割と財政 市場経済の限界を補う意味をもつ政府の経済的な活動について、理解すると同時に財政政策、租税と公債、財政問題について考察する。</p>	<p>【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況</p>	<p>通常授業 5回</p>

2月	<p>第2部 現代の社会と人間 第4章 現代の経済と国民福祉 2 変化する日本経済 ①戦後復興と高度経済成長 ②産業構造の転換と国際経済環境の変化 ③バブル後の日本経済 ④中小企業と農業</p>	<p>第2部 現代の社会と人間 第4章 現代の経済と国民福祉 2 変化する日本経済 ①戦後復興と高度経済成長 第二次世界大戦後の経済復興にかかわる諸改革や高度経済成長の経過や安定成長への移行について理解する。 ②産業構造の転換と国際経済環境の変化 高度経済成長以降の石油危機にともなう産業構造の変化、為替相場制度の変化、プラザ合意と円高不況、バブル景気、日米経済摩擦について理解する。 ③バブル後の日本経済 バブル経済の崩壊、平成不況、「失われた10年」といわれた時期の日本経済の動き、2000年代の構造改革とその後の現状について理解し、現在の日本経済が直面する諸課題について考察する。 ④中小企業と農業 中小企業の現状と経済や産業に占める役割、農業の現状と農業に関する諸政策について理解し、諸課題について考察する。</p>	<p>【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況</p>	<p>通常授業 6回</p>
3月	<p>第2部 現代の社会と人間 第4章 現代の経済と国民福祉 3 豊かな生活の実現 ①自立した消費者への道 第4回 考査 ②労働者の権利 ③現代の雇用・労働問題 ④社会保障の役割 ⑤環境保全と循環型社会</p>	<p>第2部 現代の社会と人間 第4章 現代の経済と国民福祉 3 豊かな生活の実現 ①自立した消費者への道 消費者主権の意味や消費者問題の背景、消費者運動、消費者行政と関連法制の概要を理解し、消費者の自立に向けた取り組みについて考察する。 ②労働者の権利 労働契約の特性と労働問題の発生、労働組合、労働運動、労働者の権利の必要性、労働に関する法制を理解する。 ③現代の雇用・労働問題 バブル経済崩壊以降の労働や雇用環境の変化、労働や雇用にかかわる諸問題、雇用にかかわる法制度の意義について考察する。 ④社会保障の役割 社会保障の意義と制度の歴史、日本の社会保障制度の概略について理解し、少子高齢社会における社会保障制度のあり方について考察する。 ⑤環境保全と循環型社会 高度経済成長とともに引き起こされた日本の公害問題とその後の政府の公害対策、新しい公害と環境保全について理解し、今後における持続可能な社会、循環型社会について考察する。</p>	<p>【思考・判断・表現力】 ・発問状況 ・課題内容 【関心・意欲・態度】 ・授業態度 ・課題提出状況 第4回 考査 【知識・理解】</p>	<p>通常授業 5回 考査 1回</p>

年間授業計画様式例

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科：数学、科目：数学Ⅰ 年間授業計画

教科：数学 科目：数学Ⅰ 単位数：3単位

対象学年組：第1学年A組、B組

教科担当者：（発展：柴田）（標準：山口）（基礎：久保）

使用教科書：数学Ⅰ Standard（東京書籍）

使用教材：WRITE 数学Ⅰ+A（東京書籍）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	<p>【課題学習】 1章 数と式 1節 式の計算 1 整式 2 整式の加法・減法・乗法 3 因数分解 2節 実数 1 実数 2 根号を含む式の計算 3節 1次不等式 1 不等式の性質 2 1次不等式 1次不等式の応用</p>	<p>(授業・課題なし)</p> <p>単項式、次数、係数、多項式、項、整式など、式についての用語の意味を正確に理解する。 また、特定の文字に着目することや、同類項、次数、定数項によって整式を整理できる。</p> <p>整式の加法・減法、指数法則、整式の乗法、多項式の乗法公式など、基本的な計算ができる。また、式の一部を別の文字に置き換えるなどして、見通しをもって能率よく展開することができる。</p> <p>数を無理数まで拡張することの意義を理解する。またその計算方法を理解する。</p>	<p>課題学習 【関心・意欲・態度】</p>	<p>9 相当</p>

		不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。		
5月	<p>【課題学習】</p> <p>1章 数と式</p> <p>1節 式の計算</p> <p>1 整式</p> <p>2 整式の加法・減法・乗法</p> <p>3 因数分解</p> <p>2節 実数</p> <p>1 実数</p> <p>2 根号を含む式の計算</p> <p>3節 1次不等式</p> <p>1 不等式の性質</p> <p>2 1次不等式</p> <p>1次不等式の応用</p>	<p>根号を含む式の計算ができる。また、分母の有理化について理解し、基本的な計算ができる。</p> <p>無理数の加法及び減法、乗法公式などを利用した計算ができる。また、分母だけが二項である無理数の分母の有理化ができる。</p> <p>中学校で学んだ2乗に比例する関数の性質を復習し、それをもとに2次関数について理解させる。</p> <p>2次関数の向き、頂点、軸からグラフを正確に描かせる。</p>	プリント課題提出 【関心・意欲・態度】	12 相当
6月	<p>【課題学習】</p> <p>3章 2次関数</p> <p>【Web授業】</p> <p>4・5月の課題学習の内容補填・解説</p> <p>2次関数</p> <p>1節 2次関数とそのグラフ</p> <p>2 2次関数</p>	<p>課題学習の内容を補填・解説 数と式</p> <p>課題学習の内容を補填・解説 1次不等式</p> <p>課題学習の内容を補填・解説 2次関数</p>	プリント課題提出 【関心・意欲・態度】	2 相当 web 5
7月	4・5月の課題学習の内容補填・解説 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 2 2次関数	4～6月の内容の復習、テスト対策	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 調査問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】 	2
	【Web授業】 4・5月の課題学習の内容補填・解説 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ	4～6月の内容の復習、テスト対策		1
	【Web授業】 4・5月の課題学習の内容補填・解説 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ	4～6月の内容の復習、テスト対策		2
	* 第一回考査			1
8	2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 2 2次関数の最大・最小 3 2次関数の決定	2次関数の最大・最小について定義域に応じて、最大値や最小値を求めることができる。 2次関数のグラフについて与えられた条件から、その2次関数を決定できる。	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 	6

月				
	【Web授業】 2次関数復習	2次関数が与えられて、グラフを描く形の変形できる。 2次関数の最大・最小について理解しているか。		2
9月	【以降は通常授業】 3章 2次関数 2節 2次方程式と2次不等式 1 2次方程式	因数分解による解法や解の公式を用いて、2次方程式の解を求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・休業中課題の提出【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 ・問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・効率よく解けているか【知識・理解】 	11
	3章 2次関数 2節 2次方程式と2次不等式 1 2次方程式	因数分解による解法や解の公式を用いて、2次方程式の解を求めることができる。		
	3章 2次関数 2節 2次方程式と2次不等式 2 2次方程式の実数解の個数	2次方程式の実数解の個数と判別式 $D=b^2-4ac$ の符号との関係を理解する。		
	3章 2次関数 2節 2次方程式と2次不等式 2 2次方程式の実数解の個数	2次方程式の実数解の個数と判別式 $D=b^2-4ac$ の符号との関係を理解する。		
	3章 2次関数 2節 2次方程式と2次不等式 3 2次関数のグラフとx軸の共有点	2次関数のグラフとx軸の共有点と判別式 D の符号との関係を理解する。		
10月	4章 2次関数 2節 2次方程式と2次不等式 4 2次不等式	2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係から、2次不等式の解の意味を理解し、その解を求めることができる。また、グラフを活用することのよさを認識する。	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 ・考査問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】 	9
	4章 2次関数 2節 2次方程式と2次不等式 4 2次不等式	2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係から、2次不等式の解の意味を理解し、その解を求めることができる。また、グラフを活用することのよさを認識する。		
	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 1 直角三角形と三角比	三角比としての正接、正弦、余弦の意味を理解し、 30° 、 45° 、 60° の正接、正弦、余弦の値を求めることができる。また、三角比の表を利用できる。		
	三角比としての正接、正弦、余弦の意味を理解し、 30° 、 45° 、 60° の正接、正弦、余弦の値を求めることができる。また、三角比の表を利用できる。	三角比としての正接、正弦、余弦の意味を理解し、 30° 、 45° 、 60° の正接、正弦、余弦の値を求めることができる。また、三角比の表を利用できる。		1
	2次関数・三角比復習 1節 2次関数とそのグラフ 2節 2次方程式と2次不等式	9月～10月の復習		6
11月	2次関数・三角比復習 1節 2次関数とそのグラフ 2節 2次方程式と2次不等式 4章 1節 鋭角の三角比	9月～10月の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 ・問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・効率よく解けているか【知識・理解】 	15
	*第二回考査			
	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 2 直角三角形の辺と角	三角比を用いて、直角三角形のある辺の長さから他の1辺の長さを求めたり、三角比を具体的な問題の解決に活用したりすることができる。		
	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 3 三角比の相互関係	三角比の相互関係について興味をもち、理解する。		
	4章 図形と計量 2節 三角比の拡張 1 三角比と座標	鈍角や 0° 、 90° 、 180° まで拡張した三角比の定義を理解する。		
4章 図形と計量 2節 三角比の拡張	鈍角や 0° 、 90° 、 180° まで拡張した三角比の定義を理解する。	・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】		

月	1 二角比と座標		度】 ・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 ・ 考査問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・ 答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】	6	
	4章 図形と計量 2節 三角比の拡張 2 三角比の性質	三角比の相互関係について理解を深め、それらを活用できる。			
	* 第三回考査				1
					0
1月	4章 図形と計量 3節 三角形への応用 1 正弦定理	三角形の辺と角の間の基本的な関係として正弦定理を理解し、活用できる。	・休業中課題の提出【関心・意欲・態度】 ・ 授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 ・ 問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・ 効率よく解けているか【知識・理解】	9	
	4章 図形と計量 3節 三角形への応用 2 余弦定理	余弦定理を理解し、三角形の辺と角の間の関係について理解を深める。また、既知の辺や角から残りの辺や角を求めることができる。			
	4章 図形と計量 3節 三角形への応用 3 三角形の面積	条件に応じて正弦定理や余弦定理を活用し、三角形の面積を求めることができる。			
2月	5章 データの分析 1節 データの整理と分析 1 データの整理	データの特徴や傾向をとらえるために、データを整理することのよさを認識させ、度数分布表やヒストグラムで積極的に表現させる。	・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・ 授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 ・ 問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・ 効率よく解けているか【知識・理解】	9	
	5章 データの分析 1節 データの整理と分析 2 データの代表値	データの特徴を1つの数値で表すことの有用性を認識し、平均値、中央値、最頻値について理解する。			
	5章 データの分析 1節 データの整理と分析 3 データの散らばり	四分位数等を理解し、箱ひげ図を用いてデータの分布を視覚的にとらえさせる。また、散らばり具合の数値を、偏差、分散、標準偏差としての確に表現できるようにさせる。			
3月	5章 データの分析 2節 データの相関 1 相関関係	2つの変量の組を座標とする散布図から正確に相関をとらえさせる。	・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・ 授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 ・ 考査問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・ 答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】	6	
	5章 データの分析 2節 データの相関 1 相関関係	・相関係数を求めさせ、2つの変量の相関が値で表現できることのよさを認識させる。			
	* 第四回考査				1

年間授業計画様式例

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科：数学 科目：数学A 年間授業計画

教科：数学 科目：数学A 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組，B組

教科担当者：（発展：山口）（標準：久保）（基礎：柴田）

使用教科書：数学A Standard（東京書籍）

使用教材：WRITE 数学I+A（東京書籍）

	指導内容	科目数学Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	<p>【課題学習】</p> <p>3章 図形の性質 1節 三角形と比 1 三角形と比</p> <p>3章 図形の性質 1節 三角形と比 2 三角形の重心・外心・内心</p> <p>3章 図形の性質 1節 三角形と比 3 三角形の比の定理</p>	<p>・線分の内分点、外分点の位置を求めることができる。</p> <p>・内角の二等分線と線分の比の関係を理解し、線分の長さを求めることができる。</p> <p>・三角形の外心、内心について理解し、その性質を利用して角度を求めることができる。</p> <p>・チェバの定理・メネラウスの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。</p>	<p>課題に対する取り組み・提出状況【関心・意欲・態度】</p>	6相当
5月	<p>【課題学習】</p> <p>3章 図形の性質 2節 円の性質 1 円周角の定理</p> <p>3章 図形の性質 2節 円の性質 2 円に内接する四角形</p> <p>3章 図形の性質 2節 円の性質 3 円と接線</p> <p>3章 図形の性質 2節 円の性質 4 接線と弦のつくる角</p>	<p>・円周角の定理を応用し、円に内接する四角形の性質を理解し、角度を求めることができる。</p> <p>円に内接する四角形の定理と四角形が円に内接する条件の定理を理解する。また、定理の証明や活用を通して図形に対する見方を豊かにさせる。</p> <p>・円の接線の長さについての性質を理解し、接線の長さを求めることができる。</p> <p>・円の接線と弦の作る角と円周角の関係を理解し、角度を求めさせる。</p>	<p>課題に対する取り組み・提出状況【関心・意欲・態度】</p>	8相当
6月	<p>【課題学習】</p> <p>3章 図形の性質 2節 円の性質 5 方べきの定理 6 2つの円</p> <p>【web授業】</p>	<p>・方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。</p> <p>・2つの円の位置関係を理解させ、そこに現れる図形の性質を利用して線分の長さを求めさせる。</p>	<p>・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】</p> <p>・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】</p> <p>・考查問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】</p>	2相当

	<p>3章 図形の性質 3節 作図 1 基本的な作図</p> <p>3章 図形の性質 4節 空間図形 1 空間における直線と平面 2 直線と平面の垂直</p>	<p>中学校において学習した基本的な作図や平行四辺形の成立条件や三角形と比の性質をもとに、作図の方法を考えさせる。</p> <p>中学校において学習した空間における直線や平面の位置関係を踏まえ、図形の性質を考察させる。</p>	<p>・答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】</p>	<p>1</p> <p>1</p>
7月	<p>【web授業】 3章 図形の性質 4節 空間図形 3 多面体の性質</p> <p>【通常授業】 2章 整数の性質 1節 約数と倍数 1 約数と倍数、素因数分解</p> <p>【web授業】 2章 整数の性質 1節 約数と倍数 2 最大公約数と最小公倍数</p> <p>* 第一回考査</p>	<p>・多面体の性質(多面体の点、面、辺の数の間に成り立つ関係)を理解し、それぞれの数を求めることができる。</p> <p>・整数に関する約数や倍数の基本的な用語の意味をしっかりと理解させ、倍数を見分けることができるようにさせる。素因数分解によって素早く約数を求めさせる。</p> <p>・最大公約数・最小公倍数の意味を理解し2数の最大公約数・最小公倍数を求めることができる。</p>	<p>・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】</p> <p>・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】</p> <p>・考査問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】</p> <p>・答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>1</p>
8月	<p>【通常授業】</p> <p>2章 整数の性質 2節 ユークリッドの互除法と不定方程式 1 除法の性質と整数の分類 2 ユークリッドの互除法 3 不定方程式</p> <p>2章 整数の性質 3節 整数の性質の活用 1 記数法 2 小数と分数</p> <p>【web授業】 集合の基本</p>	<p>・互いに素の意味を理解し、条件を満たす2つの自然数を求めることができる。</p> <p>・ユークリッドの互除法を利用し、ある2数の最大公約数を求めることができる。</p> <p>・ユークリッドの互除法を利用して不定方程式の解の1つを求めることができる。</p> <p>・有限小数と循環小数を理解し、循環小数を分数で表すことができる。</p> <p>・有限小数になる分数を判別することができる。</p> <p>・分数が有限小数または循環小数で表される仕組みを理解し、整数の様々な事象について前向きに思考させる。</p> <p>・集合の表し方を理解し、記号を用いて表現できる。</p> <p>・部分集合、共通部分や和集合の意味を理解し、それらを求めることができる。</p>	<p>・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】</p> <p>・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】</p> <p>・考査問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】</p> <p>・答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】</p>	<p>3</p> <p>3</p> <p>2</p>
9月	<p>【以降は通常授業】</p> <p>1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数 1 集合の要素の個数</p> <p>1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数 2 数え上げの原則</p>	<p>・全体集合、補集合を理解し、それらを求めることができる。</p> <p>・和集合や補集合の集合の要素の個数を求めることができる。</p> <p>・樹形図、和の法則や積の法則を理解し、ある事柄の起きる場合の数を求めることができる。</p> <p>・積の法則を利用して、自然数の約数の個数を求めることができる。</p>	<p>・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】</p> <p>・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】</p> <p>・考査問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】</p> <p>・答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】</p>	<p>3</p> <p>5</p>
			<p>・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】</p>	

10月	1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数 3 順列	<ul style="list-style-type: none"> ・順列の意味を理解し、記号を用いて順列を表現し計算することができる。 ・重複順列、円順列を理解し、それらの総数を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 	3
	1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数 4 組合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・組合せの考え方を理解し、記号を用いて表し計算することができる。 ・重複を許して作る組合せの総数を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考查問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 	3
	場合の数のまとめ 考查に向けての復習	<ul style="list-style-type: none"> ・考查に向けて様々な演習問題を解くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】 	2
11月	*第二回考查		<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 	1
	1章 場合の数と確率 2節 確率とその基本性質 1 事象と確率	<ul style="list-style-type: none"> ・確率で扱う用語や基本的な性質を理解し、簡単な事象の起こる確率を求めることができる。 ・和事象(排反)の起こる確率を求めることができる。 ・組合せの考え方を利用して、さまざまな事象の確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考查問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】 	5
12月	1章 場合の数と確率 2節 確率とその基本性質 2 確率の基本性質	<ul style="list-style-type: none"> ・和事象、積事象、排反事象の意味を理解し、排反である・ない、の違いを明確に区別することができる。 ・確率の加法定理を理解し計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 	2
	確率のまとめ 考查に向けての復習 *第三回考查	<ul style="list-style-type: none"> ・考查に向けて様々な演習問題を解くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・考查問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】 	2 1
1月	1章 場合の数と確率 3節 いろいろな確率 1 独立な試行の確率	<ul style="list-style-type: none"> ・独立な試行の意味を理解し、計算によってその確率を求めることができる。3つ以上の独立な試行の確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 	2
	1章 場合の数と確率 3節 いろいろな確率 2 反復試行の確率	<ul style="list-style-type: none"> 独立な試行の典型的な例であり、最も重要な例でもある反復試行の確率を理解する。このとき、組合せを用いることを納得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考查問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】 	2

2月	1章 場合の数と確率 3節 いろいろな確率 3 条件つき確率	条件つき確率と確率の乗法定理の学習を通して、具体的な事象を数学的に考察し、処理する力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 ・調査問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】 	5
3月	いろいろな確率のまとめ 調査に向けての復習 *第四回調査	・調査に向けて様々な演習問題を解くことができる	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組んでいるか【関心・意欲・態度】 ・授業中の発問に対する回答【数学的な見方や考え方】 ・調査問題を正確に解くことができるか【数学的な技能】 ・答案の内容は必要なことを記述しているか【知識・理解】 	2 1

年間授業計画様式例

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科 理科 科目 生物基礎 年間授業計画

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組 α ～B組 β

教科担当者：A組 α ～B組 β ： 関谷 祥子

使用教科書：改訂 新編生物基礎 [東京書籍]

使用教材：七訂版 スクエア最新図説生物neo[第一学習社]、セミナー生物基礎[第一学習社]

	指導内容	科目 生物基礎 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
	春季休業（終）			
4月	【課題学習】 調べ学習 「生命体はどこから来たのか」「ヒトは今後、どのような進化をするのか」 【課題学習】 1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことから、自分自身の意見をもつ。 ・自分の意見をわかりやすくまとめる力をつける。 ・すべての生物には、「細胞からできている」「DNAをもつ」「エネルギーを利用する」「自分と同じ構造をもつ個体をつくる」「体内の機能を一定に保つ」という 	【思考・判断・表現】 【知識・理解】	6

	<p>性 1節 多様性と共通性とは</p> <p>【課題学習】 2節 細胞に見られる多様性と共通性</p>	<p>異なる「自力」で同じ構造をもつ脂質を「へる」体内の共通性。さらに体内で「いっしょ」共通性がみられることを理解する。</p> <p>・細胞には、真核細胞と原核細胞があることを理解する。 ・真核細胞からなる生物を真核生物といい、原核細胞からなる生物を原核生物ということを理解する。</p>	<p>・調べ学習課題 ・授業プリント</p>	<p>相当</p>
<p>5月</p>	<p>【課題学習】 2章 生命活動とエネルギー 1節 生命活動を支える代謝</p> <p>【課題学習】 2節 代謝を進める酵素</p> <p>【課題学習】 3節 生体内のエネルギー変換</p> <p>【課題学習】 4節 葉緑体とミトコンドリアの起源</p>	<p>・生命活動のエネルギーは、すべての生物が共通に持つATPという物質を仲介して受け渡されていることを理解し、説明できる。 ・ATPが呼吸によって合成されることを理解する。</p> <p>・酵素が生体内の化学反応を効率よく進行させるはたらきをもつこと理解する。 ・カタラーゼがどのように生体内ではたらきか説明できる。 ・細胞内の酵素は、細胞小器官のはたらきを深いかかりをもっていることを理解する。 ・生物は、光合成によって光エネルギーを化学エネルギーに変換していることを理解する。 ・生物は、呼吸によって有機物を分解し、蓄えられている化学エネルギーを取り出すことで、生命活動の利用していることを理解する。</p> <p>・真核細胞の葉緑体とミトコンドリアは、他の原核細胞を取り込み、共生することで形成されたことを理解し、説明することができる。</p>	<p>【思考・判断・表現】 【知識・理解】 ・授業プリント</p>	<p>8相当</p>
<p>6月</p>	<p>【web授業】 1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 1節 多様性と共通性とは 2節 細胞に見られる多様性と共通性</p> <p>【web授業】 2章 生命活動とエネルギー 1節 生命活動を支える代謝 2節 代謝を進める酵素</p> <p>【web授業】 3節 生体内のエネルギー変換 4節 葉緑体とミトコンドリアの起源</p> <p>【web授業】 2編 遺伝子とそのはたらき 1章 生物と遺伝子 1節 DNAの構造</p> <p>【web授業】 2節 DNAとゲノム 科学史 遺伝物質であるDNAはどのように解明されてきたのだろうか</p>	<p>・4月・5月の復習</p> <p>・4月・5月の復習</p> <p>・4月・5月の復習</p> <p>・遺伝子の本体が核酸の一種であるDNAだということを理解する。 ・DNAは2本の鎖からなる二重らせん構造をし、塩基配列が遺伝情報を担っていることを理解する。</p> <p>・ゲノムとは、個体の形成、維持、繁殖など、生物の生命活動と生存に必要なすべての遺伝情報をふくむ、DNAの1組であることを説明できる。 ・ゲノムは、遺伝子の領域だけでなく、遺伝子以外の領域を含むことを理解する。 ・遺伝子の本体がDNAであることがどのように解明されてきたか学び、考えを深める。 ・DNAの構造がどのように解明されてきたか学び、考えを深める。</p>	<p>【思考・判断・表現】 【知識・理解】 ・授業プリント</p>	<p>10相当</p>
<p>7月</p>	<p>2章 遺伝情報の分配 1節 細胞分裂におけるDNAの複製と分配 2節 DNAの倍加 3節 DNAの正確な複製</p> <p>【web授業】 3章 遺伝情報とタンパク質の合成 1節 DNAとタンパク質の合成 2節 遺伝子の発現と生命現象</p> <p>第1回考査</p> <p>テスト解説</p>	<p>・細胞分裂において、DNAは間期にすべて複製され、分裂期に娘細胞に等しく配分される過程を理解する。 ・細胞は、間期と分裂期を交互に繰り返しながら分裂していくことを理解する。 ・DNAは、体細胞分裂の過程で、もとのDNAの塩基配列と全く同じ塩基配列のものが複製されることを理解し、その過程を説明できる。</p> <p>・DNAの中の遺伝情報をもとに、転写・翻訳という過程を経てタンパク質が合成されることを理解する。 ・転写では、DNAの中の遺伝子の領域がmRNAに写し取られることを理解する。 ・翻訳では、mRNAの塩基配列がアミノ酸配列に変換されてタンパク質が合成されることを理解する。 ・すべての体細胞は、同じゲノムをもつが、それぞれの細胞で発現している遺伝子がことなることを理解する。</p>	<p>【思考・判断・表現】 【知識・理解】 ・授業プリント</p>	<p>8相当</p>
	<p>【対面授業】 3編 生物の体内環境の維持 1章 体内環境の維持 1節 体内環境と体液の循環 2節 恒常性と血液</p>	<p>・体内環境は、細胞と心臓のポンプ作用によって全身を循環する体液との間で物質交換が行われることで、一定に保たれていることを理解する。 ・血液は、体内を循環することで、細胞に必要な酸素などを供給し、細胞が排出する二酸化炭素などを回収することを理解する。 ・血液凝固と線溶の仕組みを理解し、説明できる。 ・肝臓では、血しょう中のタンパク質やグルコースの量の調節、胆汁の生成や解毒作用による老廃物の排出が行われていることを説明できる。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント</p>	<p>4</p>

8月	<p>3節 体内環境を調節する器官</p> <p>夏季休業 (始)</p> <p>夏季休業 (終)</p> <p>【web授業】 3節 体内環境を調節する器官</p>	<p>・腎臓では、血しょう中の水分やナトリウムイオンの量の調節、尿の生成による老廃物の排出が行われていることを理解する。</p> <p>・腎臓では、血しょう中の水分やナトリウムイオンの量の調節、尿の生成による老廃物の排出が行われていることを理解する。</p>	<p>・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査 ・小テスト</p>	2相当
9月	<p>【以降は通常授業】 3編 1章 復習</p> <p>2章 体内環境を保つしくみ 1節 自律神経系による調節</p> <p>2節 ホルモンによる調節</p> <p>3節 自律神経系と内分泌系による協同作業</p>	<p>・8月上旬で学習した内容を理解し、説明できる。</p> <p>・体内環境の急激な変化を視床下部が感知し、自律神経系により、すばやく各器官に命令を伝えるしくみがあることを理解する。 ・交感神経と副交感神経が拮抗的に働くことを理解し、各器官の働きが調節されて、体内環境が一定に維持されることを説明できる。</p> <p>・持続的な調節が必要な体内環境の変化に対して、血液中のホルモンの濃度をフィードバックにより適切に調節し、標的器官のはたらきをきめ細かく調節していることを理解し、説明できる。</p> <p>・血糖値や体温は、自律神経系と内分泌系が互いに協調して働くことで調節されていることを理解し、説明できる。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査 ・小テスト</p>	10
月	<p>3章 体内環境を守るしくみ 1節 免疫のシステム</p> <p>2節 免疫とヒト</p> <p>第2回考査範囲 復習</p>	<p>・私たちの体には、病原体などの侵入から身を守る免疫のしくみが備わっていることを理解する。 ・体内に侵入した病原体は、自然免疫と適応免疫によって排除され、安定した体内環境が保たれていることを説明できる。 ・適応免疫には、細胞性免疫と体液性免疫があることを理解し、それぞれ仕組みを説明することができる。</p> <p>・免疫記憶や抗体などの免疫のしくみは、ワクチンや血清療法などの予防法や治療法に利用されていることを理解する。 ・免疫のしくみに異常が生じると、アレルギーや自己免疫疾患、エイズなどの病気になることを理解する。</p> <p>・体液の循環、血液凝固と線溶、肝臓の構造とはたらき、腎臓の構造とはたらきについて復習し、理解を深める。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査 ・小テスト</p>	10
月	<p>第2回考査</p> <p>テスト返却 3編 3章 復習</p> <p>4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と遷移 1節 生態系</p> <p>2節 植生と生態系</p> <p>3節 植生の遷移</p>	<p>・免疫にかかわる細胞や免疫のしくみについて復習し、理解する。 ・免疫とヒトの関わりについて復習し、理解する。</p> <p>・ヒトを含めた様々な生物は、生態系の中で、食物連鎖などの「つながり」をもって生きていることを理解する。</p> <p>・植生は、多様な環境をつくり、多様な生物の営みを支えるうえで大きな役割を果たしていることを理解する。 ・森林では、階層構造などに対応した多様な環境を形成していることを理解し、そこに生活する生物も多様であることを説明できる。 ・土壌では、風化した岩石を材料として、分解者のはたらきなどによって形成されていることを理解する。</p> <p>・植生は常に一定ではなく、時間とともに環境に適応した植物に置き換わって</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査 ・小テスト</p>	8

	10月 10日(金) 18時	いくことを説明できる。		
月	第3回考査 テスト返却 冬季休業(始)			2
1月	冬季休業(終) 4編1章 復習 2章 バイオームとその分布 1節 地球上の植生分布 2節 さまざまなバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> ・食物連鎖、森林や土壌などの環境と生物の関わり、植生の変化について復習し、理解を深める。 ・植生の分布は、気温と降水量などの気候によって決まることを理解する。 ・森林、草原、荒原のバイオームは、各地域の年平均気温と年降水量によってさらにいくつかのバイオームに区分されることを理解する。 ・世界の様々な地域にあるバイオームについて学び、バイオームについての理解を深める。 ・日本にあるバイオームについて学び、その特徴を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査 ・小テスト 	6
2月	3章 生態系とその保全 1節 生態系でのエネルギーの流れ 2節 生態系での物質の流れ 3節 生態系のバランス 4節 生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者が行う光合成によって有機物中に蓄えられた化学エネルギーは、食物連鎖を通して消費者に利用されていることを理解する。 ・光エネルギーは、最終的には熱エネルギーとなって生態系外に出ていくことを説明することができる。 ・炭素や窒素は、エネルギーのように生態系外に出ていくことはなく、生物の活動などを通して生態系の中を循環していることを理解する。 ・炭素や窒素の循環は、人間の活動による影響を受けていることを説明できる。 ・生態系は、攪乱を更けても元に戻ろうとする復元力があることを理解する。 ・近年の人間の活動によって、生態系のバランスが乱れつつあることを説明できる。 ・人間活動によって生態系のバランスが維持されている事例について、具体例を挙げながら説明することができる。 ・生物多様性は様々な価値をもつため、その保全はバランスのとれた生態系を維持するうえで大切であることを理解し、今後の生活にどのように活かすことができるか考え、意見をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 ・定期考査 ・小テスト 	6
3月	4編2章、3章 復習 学年末考査 テスト返却	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系内でのエネルギーと物質の循環、生態系のバランス、生物多様性の保全について復習し、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 ・授業プリント ・実験プリント 【思考・判断・表現】 ・授業プリント ・実験プリント ・定期考査記述問題 ・小テスト 【観察・実験の技能】 ・実験プリント ・定期考査 【知識・理解】 	6

月			・定期考査 ・小テスト	
	春季休業(始)			

大島海洋国際高等学校 令和2年度 科目名 体育 年間授業計画

教科:(保健体育)科目:(体育) 対象:(第1学年 A組~B組) 2単位

教科担当者: 増子良太 ㊟ 古川勝也 ㊟

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月	【課題学習】 〈共通〉 体づくり運動	室内でできる運動に取り組み、運動習慣を身に付ける。	課題学習 【関心・意欲・態度】	4相当
5月	【課題学習】 〈共通〉 体づくり運動	室内でできる運動に取り組み、運動習慣を身に付ける。	課題学習 【関心・意欲・態度】	4相当
	【課題学習】 〈共通〉 体育理論	オリンピックの歴史について学び、オリンピックがどのように変化してきたか理解する。	課題学習 【関心・意欲・態度】	2相当
6月	【課題学習】 〈共通〉 体育理論	ドーピングについて考え、スポーツ倫理が求められる理由について説明できる。	課題学習 【関心・意欲・態度】	2相当
	【Web授業】 ガイダンス	体育の目的・意義について理解する。	観察	Web 1
	【Web授業】 体づくり運動	室内でできるストレッチングに取り組み 柔軟性を高める	観察	Web

月		準備してこるへトレーニングに使う種目、柔軟性を高める。		1
	【Web授業】 体づくり運動	室内でできる筋力トレーニングに取り組み、運動不足を解消する。	観察	Web 1
	【通常授業】 体づくり運動	スポーツテストに向けて自らの課題等を見つけ今後の体育、運動習慣にいかす。	観察	2
	【Web授業】 体育理論	運動やスポーツの活動中に起こるけがの原因について説明できる。気象状況や自然環境の変化にもなって考えられる危険について例をあげることができる。	観察	Web 1
7月	第1回考査			
	【以降通常授業】 (共通) 水泳	水泳の授業の流れについて理解し、次年度へつなげる。	観察	2
	〈男子〉 球技「サッカー」	球技(サッカー)を通して個人の技能を高め、ゲームでの攻防やチーム活動の中で、公正・協力・責任といった態度を養う。	観察、実技テスト、学習カード	8
9月	〈女子〉 球技「テニス」	ネット型球技の特性やラケットなどの道具の扱いを理解し、ラリーや攻防を楽しむ。また生涯スポーツとしての楽しみも理解する。	観察、実技テスト	8
	〈男子〉 球技「サッカー」	球技(サッカー)を通して個人の技能を高め、ゲームでの攻防やチーム活動の中で、公正・協力・責任といった態度を養う。	観察、実技テスト、学習カード	2
	〈女子〉 球技「テニス」	ネット型球技の特性やラケットなどの道具の扱いを理解し、ラリーや攻防を楽しむ。また生涯スポーツとしての楽しみも理解する。	観察、実技テスト	2
10月	〈共通〉 体づくり運動 「体カテスト」	スポーツテストを通じて自らの課題等を見つけ今後の体育、運動習慣にいかす。	観察、測定記録	4
	〈男子〉 球技「バレーボール」	ネット型球技の特性を理解し、ラリーや攻防を楽しむ。また生涯スポーツとしての楽しみも理解する。	観察、実技テスト	1
	〈女子〉 器械運動	器械運動(マット運動)を通して巧緻性、柔軟性を向上させ、様々な体の動きを習得する。	観察、実技テスト	1
	〈男子〉 球技(バレーボール)	ネット型球技の特性やラケットなどの道具の扱いを理解し、ラリーや攻	観察、実技テスト	6

11月	ル)	防を楽しむ。また生涯スポーツとしての楽しみも理解する。		5
	〈女子〉 器械運動	器械運動（マット運動）を通して巧緻性、柔軟性を向上させ、様々な体の動きを習得する。	観察、実技テスト	6
	第2回考査			
12月	〈男子〉 球技（バレーボール）	ネット型球技の特性やラケットなどの道具の扱いを理解し、ラリーや攻防を楽しむ。また生涯スポーツとしての楽しみも理解する。	観察、実技テスト	4
	〈女子〉 器械運動	器械運動（マット運動）を通して巧緻性、柔軟性を向上させ、様々な体の動きを習得する。	観察、実技テスト	4
	第3回考査			
1月	〈共通〉 陸上競技（持久走）	自らの課題や目標を持って持久走に取り組み心肺機能や持久力の向上を図る。また生涯を通じて親しめる資質を養う。	観察、測定タイム	4
2月	〈共通〉 陸上競技（持久走）	自らの課題や目標を持って持久走に取り組み心肺機能や持久力の向上を図る。また生涯を通じて親しめる資質を養う。	観察、測定タイム	4
	マラソン大会			
	体育理論	新しいスポーツに挑戦し、体の動かし方を工夫できるようにする。 障害者スポーツ挑戦し、障害者への理解を深める。	観察	2

3月	体育理論	新しいスポーツに挑戦し、体の動かし方を工夫できるようにする。 障害者スポーツ挑戦し、障害者への理解を深める。	観察	2
	第4回考査			

大島海洋国際高等学校 令和2年度 科目名 保健 年間授業計画

教科:(保健体育) 科目:(保健) 対象:(第1学年 A組、B組) 1単位

教科担当者:(古川 勝也 @)

使用教科書:最新高等保健体育(大修館)口

	指導内容 【年間授業計画】	科目保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月	【課題学習】 健康の考え方と成り立ち	・健康の考え方が変化していることを、例をあげて説明できるようになる。 ・健康を成り立たせている要因をあげることができるようになる。	課題学習 【関心・意欲・態度】 定期テスト	1相当
	【課題学習】 私たちの健康のすがた	・日本の健康水準の変化とその背景を説明できるようになる。 ・日本の現在の健康問題をあげることができるようになる。	課題学習 【関心・意欲・態度】 定期テスト	1相当
	【課題学習】 健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり	・健康に関する意志決定・行動選択には何が重要かを説明できるようになる。 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴を説明できるようになる。	課題学習 【関心・意欲・態度】 定期テスト	1相当
5月	【課題学習】 生活習慣病とその予防	・生活習慣病の例をあげ、なぜその病気が生活習慣病と呼ばれるのかを説明できるようになる。 ・生活習慣病を予防する方法を2つに分けて説明できるようになる。	課題学習 【関心・意欲・態度】 定期テスト	1相当
	【課題学習】 食事と健康	・健康にとっての食事の意味について説明できるようになる。	課題学習 【関心・意欲・態度】 定期テスト	1相当
	【課題学習】 運動・休養と健康	・運動が健康に及ぼす影響と、健康により運動のおこない方について説明できるようになる。 ・健康にとっての休養の意味と、適切な休養のとり方について説明できるようになる。	課題学習 【関心・意欲・態度】 定期テスト	1相当

6月	【課題学習】 喫煙と健康	・喫煙者やその周囲の人に起こる害を説明できるようになる。 ・日本や世界における喫煙対策の例をあげることができるようになる。	課題学習 【関心・意欲・態度】 定期テスト	1相当
	【Web授業】 ガイダンス	保健の授業の受け方や評価について理解させる。	観察	1
	【Web授業】 健康の考え方と成り立ち	・健康の考え方が変化していることを、例をあげて説明できるようになる。 ・健康を成り立たせている要因をあげることができるようになる。	観察、発言、プリント、 定期テスト	1
	【Web授業】 私たちの健康のすがた	・日本の健康水準の変化とその背景を説明できるようになる。 ・日本の現在の健康問題をあげることができるようになる。	観察、発言、プリント、 定期テスト	1
7月	グループワークの授業づくり	・グループでコンセンサスゲームに取り組み、グループワークにおける話し合いの意義、効果的な話し合いの方法について実践できるようになる。	観察、発言、プリント	1
	【Web授業】 健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり①	・健康に関する意志決定・行動選択には何が重要かを説明できるようになる。 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴を説明できるようになる。	観察、発言、プリント、 定期テスト	1
	【Web授業】 健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり②	・コンセンサスゲームの取り組みを活かして、よりよい雰囲気効果的なグループワークができるようになる	観察、発言、プリント	1
	第1回考査	平均点60点以上		
	【Web授業】 テスト内容、テスト結果の振り返り及び9月からの授業について	・テスト内容やテスト結果を振り返り、9月以降の授業や次回の定期考査に向けて自分のやるべきことを理解する。	観察	
8月	夏季休業			
	【以降通常授業】 生活習慣病とその予防	・生活習慣病の例をあげ、なぜその病気が生活習慣病と呼ばれるのかを説明できるようになる。 ・生活習慣病を予防する方法を2つに分けて説明できるようになる。	観察、発言、プリント、 定期テスト	1

9月	食事と健康	・健康にとっての食事の意味について説明できるようになる。	観察、発言、プリント、定期テスト	1
	運動・休養と健康	・運動が健康に及ぼす影響と、健康によい運動のおこない方について説明できるようになる。 ・健康にとっての休養の意味と、適切な休養のとり方について説明できるようになる。	観察、発言、プリント、定期テスト	1
	喫煙と健康	・喫煙者やその周囲の人に起こる害を説明できるようになる。 ・日本や世界における喫煙対策の例をあげることでできるようになる。	観察、発言、プリント、定期テスト	1
10月	喫煙と健康	・喫煙者やその周囲の人に起こる害を説明できるようになる。 ・日本や世界における喫煙対策の例をあげることでできるようになる。	観察、発言、プリント、定期テスト	1
	飲酒と健康①	・パッチテストを行い、そこからアルコールに対する自分の体質への理解を深める。	観察、発言、プリント	1
	飲酒と健康②	・飲酒による健康への短期的な影響と長期的な影響を説明できるようになる。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策の例をあげることができるようになる。	観察、発言、プリント、定期テスト	1
	薬物乱用と健康①	・乱用薬物が心身の健康や社会に与える影響について説明できるようになる。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策の例をあげることができるようになる。	観察、発言、プリント、定期テスト	1
11月	薬物乱用と健康② (調べ学習、発表)	・乱用薬物が心身の健康や社会に与える影響について説明できるようになる。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策の例をあげることができるようになる。	観察、プリント、発表	4
	感染症とその予防	・新たな感染症の問題に関して例をあげて説明できるようになる。 ・感染症の予防対策について、社会と個人に分けて説明できるようになる。	観察、発言、プリント、定期テスト	1
	性感染症・エイズとその予防	・性感染症とは何かを説明できるようになる。 ・性感染症・エイズの予防対策について、個人と社会に分けて説明できるようになる。	観察、発言、プリント、定期テスト	2
	第2回考査	実施しない		
12月	感染症とその予防 (復習)	・新たな感染症の問題に関して例をあげて説明できるようになる。 ・感染症の予防対策について、社会と個人に分けて説明できるようになる。	観察、発言、プリント、定期テスト	1
	性感染症・エイズとその予防 (復習)	・性感染症とは何かを説明できるようになる。 ・性感染症・エイズの予防対策について、個人と社会に分けて説明できるようになる。	観察、発言、プリント、定期テスト	1
	第3回考査	実施しない		

1 月	性感染症・エイズとその予防	・性感染症とは何かを説明できるようになる。 ・性感染症・エイズの予防対策について、個人と社会に分けて説明できるようになる。	観察、発言、プリント、 定期テスト	1
	欲求と適応機制	・人間の欲求の種類を説明できるようになる。 ・欲求不満に対処するための適応機制の例をあげることができるようになる。	観察、発言、プリント、 定期テスト	1
2 月	心身の相関とストレス	・心と体の働きが相互に影響しあう関係について例をあげて説明できるようになる。 ・ストレスの心理・社会的要因と物理的要因の例をあげることができるようになる。	観察、発言、プリント、 定期テスト	1
	心の健康のために	・ストレスへのさまざまな対処方法の例をあげることができるようになる。 ・自己実現と心の健康の関係を説明できるようになる。	観察、発言、プリント、 定期テスト	1
	交通事故の現状と要因	・若者の交通事故の特徴を説明できるようになる。 ・交通事故の発生に関係する要因を、例をあげて説明できるようになる。	観察、発言、プリント、 定期テスト	1
	交通事故を防ぐために	・運転者に必要な資質と責任を説明できるようになる。 ・安全な交通社会づくりのための対策を、例をあげて説明できるようになる。	観察、発言、プリント、 定期テスト	1
3 月	まとめ	・後期の内容の復習をする。	観察、発言、プリント、 定期テスト	1
	第4回考査	平均60点以上		

年間授業計画様式例

大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科芸術 科目音楽Ⅰ 年間授業計画

教 科：芸術 科 目：音楽Ⅰ 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～B組

教科担当者：(A組：白鳥) (B組：白鳥)
 使用教科書：(Tutti 音楽 I 改訂版 教育出版)
 使用教材：(教科書 教科書付属音源 楽器類 配布資料等)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】			4相当
	楽典(音名)	・音名と階名を知覚する	【課題学習】 関心・意欲・態度	
	楽典(楽器の種類)	・金管楽器と木管楽器の違いを理解できる	【課題学習】 関心・意欲・態度	
5月	【課題学習】			8相当
	楽典(音の長さ)	・音符の長さを知覚する	【課題学習】 関心・意欲・態度	
	楽典(楽器の種類)	・一つの楽器を研究する	【課題学習】 関心・意欲・態度	
6月	【WEB授業】 楽典	・音名と階名について理解する	【WEB授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	2相当 WEB4
	【WEB授業】 楽典	・音符と休符、そしてその長さを知覚する	【WEB授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	
	【WEB授業】 校歌指導	・校歌の内容を理解する	【WEB授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	
	【WEB授業】 楽典	・拍子を学び、音の長さを具体的に理解し、リズムを覚える	【WEB授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	
	【通常授業】 ギター	・ギターの構造を理解し、独特の音色を知覚する	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	【WEB授業】 楽典	・強弱記号を理解し、その使い方を覚える	【WEB授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	WEB

7月		「強弱記号を正しく、しつこい方を見つめる」		B 1
8月				
9月	【通常授業】校歌指導	・都立大島海洋国際高校校歌が歌えるようになる	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	3
	【通常授業】楽典	・強弱を用いて、強弱変化記号を理解する	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	【通常授業】ギター	・ギターの仕組みと発音原理を理解する	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	【通常授業】ギター	・ギターで様々な楽曲を演奏できるようになる	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
10月	【通常授業】ギター	・ギターの基礎的な演奏が出来る ・ギターの音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	【通常授業】鑑賞	・ミュージカル映画「レ・ミゼラブル」を鑑賞し、映画音楽とミュージカルについて知覚する	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解	2
	器楽表現(リコーダー)	・リコーダーの基礎的な演奏が出来る ・リコーダーの音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	器楽表現(リコーダー)	・リコーダーの基礎的な演奏が出来る ・リコーダーの音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる	【通常授業】関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2

月	歌唱(民俗芸能)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的な民謡や芸能に親しみを持っている 民謡の発声や唱歌を理解して発声を行いながら歌っている 	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	創作表現	<ul style="list-style-type: none"> 言葉のリズムや抑揚を生かし、音楽を形づくっている要素の働きや構成を工夫しながら創作をしている 	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	創作表現	<ul style="list-style-type: none"> 言葉のリズムや抑揚を生かし、音楽を形づくっている要素の働きや構成を工夫しながら創作をしている 	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
月	器楽表現(三線)	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基礎的な演奏が出来る 楽器の音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる 	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	器楽表現(三線)	<ul style="list-style-type: none"> 音色や雰囲気を感じながら歌唱、演奏することができる 楽器の音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる 	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
1月	歌唱表現	<ul style="list-style-type: none"> 腹式呼吸による基礎的な歌唱表現ができる リズムを感じながら歌唱することができる 胸声と頭声の区別ができ、転換点が出来ぬようになめらかに歌唱することができる 声や楽器の音色の特徴と、表現上の効果とのかかわりを理解し、楽曲の文化的、歴史的背景について理解を深めている 	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	器楽表現	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基礎的な演奏が出来る 楽器の音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる 	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の文化的な背景や、演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞することができる 	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	2
2	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ギター音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解しながら鑑賞している 	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	2
	器楽表現	<ul style="list-style-type: none"> ギター音色や奏法と表現上の効果とのかかわりを理解し、それらを生かして演奏できる 	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2

月	鑑賞	・楽曲の文化的な背景や、演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞することができる	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	2
3月	表現(発表)	・音楽の様々な要素を知覚しながら歌唱表現・器楽表現をすることができる	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解、工夫	2
	鑑賞(発表)	・根拠をもって批評することができる	【通常授業】 関心・意欲・態度、知覚・理解	2

年間授業計画様式

東京都立大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科「英語」科目「総合英語」 年間授業計画

教科： 英語 科目： 総合英語 単位数： 4単位

対象学年組： 第1学年A組～B組

教科担当者： (Grammar 猪原 令子) (Reading 野口 美紀)

使用教科書： (NEW ONE WORLD Communication I (教育出版))

使用教材： (進路マップマナトレ (ベネッセ), ラーナーズ高校英語 (数研出版), フレーズで英単語3000, 21ラーナーズ英文法)

	指導内容	科目「総合英語」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】 進路マップ マナトレ	【課題学習】 中学英語の総復習	【課題学習】 課題提出	8 相当
5月	【課題学習】 ・英単語 ・不規則変化動詞の活用 ・教科書Lesson 1の単語調べ ・Pre-training 中学3年間の英語 復習問題	【課題学習】 ・英単語の蓄積 ・不規則変化動詞の活用定着 ・教科書Lesson 1の予習 ・中学英語の総復習	【課題学習】 ・単語テスト実施 ・確認テスト実施 ・課題提出	8 相当

6月	<p>【課題学習】 進路マップマナトレ</p> <p>【web授業】 〈NEW ONE WORLD Communication I〉 ・Lesson 1 "Let's See the World" ・基本的な文構造 ・to不定詞 〈21ラーナーズ英文法〉 ・Pre Lesson 1「文の種 類」 ・Pre Lesson 2「動詞の 形」 ・Introduction 1「動詞が 表す『時』」 ・Lesson 1「現在時制・過 去時制」</p>	<p>【課題学習】 中学英語の復習</p> <p>【web授業】 ①積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機 会を作ろうとしている。 ②旅行の楽しさや、日本の旅行者が世界でどのように見られているか、 旅行の準備についてまとめ、簡潔に表現する。 ③海外旅行の楽しさや旅行する際に必要なものを聞いたり読んだりした ことを理解する。 ④基本的な文構造 (SV, SVC, SVO) , 時制, to不定詞の用法を理解してい る。 ⑤授業の復習を定着させる。</p>	<p>【課題学習】 課題提出</p> <p>【web授業】 第1回考査</p>	<p>4 相当</p> <p>web 7</p>
7月	<p>【登校授業】 ・クラス分けテスト ・単語テスト ・不規則変化動詞確認テ スト</p> <p>【web授業】 〈NEW ONE WORLD Communication I〉 ・Lesson 1 "Let's See the World" ・基本的な文構造 ・to不定詞 〈21ラーナーズ英文法〉 ・Lesson 2「未来表現」 ・Lesson 3「完了形①」 ・Lesson 4「完了形②」</p>	<p>【登校授業】 ・4月～6月までの課題の取組みと理解度の確認をする。</p> <p>【web授業】 ①積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機 会を作ろうとしている。 ②旅行の楽しさや、日本の旅行者が世界でどのように見られているか、 旅行の準備についてまとめ、簡潔に表現する。 ③海外旅行の楽しさや旅行する際に必要なものを聞いたり読んだりした ことを理解する。 ④基本的な文構造 (SV, SVC, SVO) , 時制, to不定詞の用法を理解してい る。 ⑤授業の復習を定着させる。</p>	<p>【登校授業】 ・展開用にクラスを分け る ・単語テストを平常点に 入れる</p> <p>【web授業】 第1回考査</p>	<p>通常 2</p> <p>web 4</p>
8月	<p>【web授業】 〈NEW ONE WORLD Communication I〉 ・Lesson 1 "Let's See the World" ・基本的な文構造 ・to不定詞 〈21ラーナーズ英文法〉 ・Lesson 5「助動詞①」 ・Lesson 6「助動詞②」</p>	<p>【web授業】 ①積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機 会を作ろうとしている。 ②旅行の楽しさや、日本の旅行者が世界でどのように見られているか、 旅行の準備についてまとめ、簡潔に表現する。 ③海外旅行の楽しさや旅行する際に必要なものを聞いたり読んだりした ことを理解する。 ④基本的な文構造 (SV, SVC, SVO) , 時制, to不定詞の用法を理解してい る。 ⑤授業の復習を定着させる。</p>	<p>【web授業】 第2回考査</p>	<p>web 6</p>
9月	<p>【以降は通常授業】 〈NEW ONE WORLD Communication I〉 ・Lesson 2 "Bread Culture in Japan" ・比較表現① ・受身・基本的文構造 〈21ラーナーズ英文法〉 ・Optional Lesson 1 「文の型」 ・Lesson 7「受動態①」 ・Lesson 8「受動態②」</p>	<p>【以降は通常授業】 ①リズムやイントネーションに注意しながら、聞いたり話したりしてい る。 ②日本人の食生活の現状や特徴について簡潔に表現できる。 ③データを読み解いたり、パンの歴史について、聞いたり読んだりした ことが理解できる。 ④比較表現、受身、基本的な文構造の用法を理解している。 ⑤未来表現の用法を理解している。 ⑥学習した文法を使って英作文ができる。</p>	<p>【以降は通常授業】 ・提出物 (プリント、 ノート) ・単語テスト ・第2回考査</p>	<p>17～18</p>
10月	<p>〈NEW ONE WORLD Communication I〉 ・Lesson 3 "Why Do Cats Purr?" ・動名詞・that節・分詞 の形容詞用法 〈21ラーナーズ英文法〉 ・Introduction 2「不定 詞・動名詞・分詞」 ・Lesson 9「不定詞①」 ・Lesson 10「不定詞 ②」 ・Lesson 11「不定詞 ③」</p>	<p>①友だちの前で積極的に情報や自分の考えを発表している。 ②猫の生態についての情報などを、簡潔に説明できる。 ③英語の音声的な特徴、話される速度、声の大きさなどに慣れながら聞 き取ることができる。 ④動名詞、that節、分詞の形容詞用法を理解している。 ⑤完了形の用法を理解している。 ⑥学習した文法を使って英作文ができる。</p>	<p>・提出物 (プリント、 ノート) ・単語テスト ・暗唱例文テスト ・第2回考査</p>	<p>16～17</p>
11月	<p>〈NEW ONE WORLD Communication I〉 ・Lesson 4 "The Power of Anime" ・現在完了・過去完了・ 比較表現 〈21ラーナーズ英文法〉 ・Lesson 12「動名詞」 ・Lesson 13「分詞①」</p>	<p>①身近な話題について、積極的に発表しようとしている。 ②日本のアニメについて、自分の考えを友だちに伝えることができる。 ③文の構造を理解しながら、書かれていることの内容を理解することが できる。 ④現在完了形・過去完了形・比較表現の用法を理解している。 ⑤学習した文法を使って英作文ができる。</p>	<p>・提出物 (プリント、 ノート) ・単語テスト ・暗唱例文テスト ・第3回考査</p>	<p>11～12</p>

月	・Lesson 13「分詞①」 ・Lesson 14「分詞②」			
12月	<NEW ONE WORLD Communication I> ・Lesson 5 "Projects with a Difference" ・関係代名詞(主格、目的格) <21ラーナーズ英文法> ・Lesson 15「比較①」 ・Lesson 16「比較②」 ・Introduction 3「関係詞」 ・Lesson 17「関係詞①」 ・Lesson 18「関係詞②」 ・Lesson 19「関係詞③」	①自分自身のことについて、積極的に友だちに伝えようとしている。 ②さまざまなイベントについて自分の考えを伝えたり、簡潔にまとめたりすることができる。 ③文章を読んで、イベントの起源などの内容を理解することができる。 ④関係代名詞(主格、目的格)の用法を理解している。 ⑤学習した文法を使って英作文ができる。	・提出物(プリント、ノート) ・単語テスト ・暗唱例文テスト ・第3回考査	6~7
1月	<NEW ONE WORLD Communication I> ・Lesson 6 "We Are the World" ・SV0(=疑問詞節), SV0+to不定詞, 疑問詞+to不定詞 <21ラーナーズ英文法> ・Lesson 20「仮定法①」 ・Lesson 21「仮定法②」	①調べた内容や情報などを、プレゼンテーションを通して積極的に発言している。 ②"We Are the World"が生まれた背景を簡潔にまとめて、表現している。 ③世界には苦しんでいる人々がたくさんいることを知り、様々な支援活動があることを理解する。 ④SV0(=疑問詞節), SV0+to不定詞, 疑問詞+to不定詞の用法を理解している。 ⑤学習した文法を使って英作文ができる。	・提出物(プリント、ノート) ・単語テスト ・暗唱例文テスト ・第4回考査	9~10
2月	<NEW ONE WORLD Communication I> ・Lesson 7 "Learning about Science around You" ・It is ~ (for...)+ to不定詞, It is ~ (for...)+ that..., SVOC(=現在分詞), SVOC(=原型不定詞) <21ラーナーズ英文法> ・FURTHER STEP 1「接続詞」 ・FURTHER STEP 2「話法」	①情報や考えなどを積極的に聞いたり読んだりしようとしている。 ②身の回りにおける環境や科学について内容の要点を示す語句や文を用いて表現する。 ③様々な人類の課題や環境問題について知り、課題解決などを理解する。 ④It is 構文, SVOC(=現在分詞, 原形不定詞)の用法を理解している。 ⑤学習した文法を使って英作文ができる。	・提出物(プリント、ノート) ・単語テスト ・暗唱例文テスト ・第4回考査	10
3月	<NEW ONE WORLD Communication I> ・Lesson 8 "The Ninth Symphony in December" ・関係代名詞what, 関係副詞where, when, why, how <21ラーナーズ英文法> ・Optional Lesson 2「語の役割」 ・Optional Lesson 3「覚えておきたい重要表現」	①歴史を踏まえながら、積極的に書かれている内容を読もうとしている。 ②事実を忠実に相手に伝えることができる。 ③歴史考察を踏まえ、日本における「第九」の起源について理解する。 ④関係代名詞、関係副詞の用法を理解する。 ⑤学習した文法を使って英作文ができる。	・提出物(プリント、ノート) ・単語テスト ・暗唱例文テスト ・第4回考査	4

年間授業計画様式例

都立大島海洋国際高等学校 令和2年度 教科:英語 科目:異文化理解 年間授業計画

教科: 英語 科目: 異文化理解 単位数: 2単位

対象学年組: 第1学年A組~B組

教科担当者: 陣野 俊彦

使用教科書: Sailing English Conversation(啓林館)

使用教材: (フレーズで英単語3000)

指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
------	-------------	----------	------

4月	【課題学習】 マナト レ	【課題学習】 中学英語の総復習	【課題学習】 課題提出	6 相当
5月	【Web授業】 Warm up 1 English around the world Warm up 2 People around us	①積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機会を作ろうとしている。 ②emphasis/pause/talking speed/で自分の伝えたいことを相手に理解させようとしている。 ③what/ when /where / how /などを用いて質問をすることができる。 ④上記の質問に答えることができる。	【課題学習】 ・単語テスト実施 ・確認テスト実施 ・課題提出	Web 6
6月	【Web授業】 Sailing Lesson 1 What day is convenient for you?	①積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機会を作ろうとしている。 ②emphasis/pause/talking speed/で自分の伝えたいことを相手に理解させようとしている。 ③what/ when /where / how /などを用いて質問をすることができる。 ④上記の質問に答えることができる。	提出物、筆記テスト、小テスト、	7 web
7月	【Web授業】 Sailing Lesson 1 What day is convenient for you? 【通常授業】 英語で 自己紹介	①積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機会を作ろうとしている。 ②emphasis/pause/talking speed/で自分の伝えたいことを相手に理解させようとしている。 ③ホームステイの際のルールの確認や、手伝いの申し出などが英語でできる。 ④短い対話や録音メッセージを聞き取ることができる。	授業での取り組み、授業内テスト、提出物、筆記テスト、小テスト	2 web 4

8月	<p>【Web授業】 Sailing Lesson 2 How was last Sunday?</p>	<p>①積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機会を作ろうとしている。</p>	<p>授業での取り組み、授業内テスト、提出物、筆記テスト、小テスト</p>	web 2
9月	<p>【以降通常授業】 Sailing Lesson 2 How was last Sunday? Sailing Lesson 3 Could I have an extra blanket? Sailing Lesson 4 Who's calling, please?</p>	<p>①積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機会を作ろうとしている。 ②emphasis/pause/talking speed/で自分の伝えたいことを相手に理解させようとしている。 ③相手をsightseeing/shopping/visiting somewhere/などに勧誘することができる。 ④ものの位置関係を英語で理解することができる。</p>	<p>授業での取り組み、授業内テスト、提出物、筆記テスト、小テスト</p>	9
月	<p>Sailing Lesson5 How can I get there? Sailing Lesson6 May I help you?</p>	<p>①積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機会を作ろうとしている。 ②emphasis/pause/talking speed/で自分の伝えたいことを相手に理解させようとしている。 ③相手を映画や観光に誘う表現を理解し、実際に使うことができる。 ④道案内を聞き取り、また道順を説明できる。</p>	<p>授業での取り組み、授業内テスト、提出物、筆記テスト、小テスト</p>	8
	<p>Sailing Lesson 7 You look nice in that dress!</p>	<p>①積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機会を作ろうとしている。 ②emphasis/pause/talking speed/で自分の伝えたいことを相手に理解させようとしている。 ③服装やその機能を英語で理解したり、表現したりできる。</p>	<p>授業での取り組み、授業内テスト、提出物、筆記テスト、小テスト</p>	7

月	Sailing Lesson 8 I'm not feeling well	<ul style="list-style-type: none"> ③ 形容詞の機能を大膽に理解したり、表現したりできる。 ④ 映画の台詞を流暢に暗唱し、映画の一部を再現できる。 		
月	Sailing Lesson 9 I want to be a diplomat	<ul style="list-style-type: none"> ① 積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機会を作ろうとしている。 ② emphasis/pause/talking speed/で自分の伝えたいことを相手に理解させようとしている。 ③ 自分の将来に関して、職業の名前を使って表現できる。 ④ 短い会話から必要な情報を抜き出すことができる。 	授業での取り組み、授業内テスト、提出物、筆記テスト、小テスト	6
1月	Sailing Lesson 10 Do you share the housework?	<ul style="list-style-type: none"> ① 積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機会を作ろうとしている。 ② emphasis/pause/talking speed/で自分の伝えたいことを相手に理解させようとしている。 ③ 家事について英語で表現ができる。 ④ 短い会話から必要な情報を抜き出すことができる。 	授業での取り組み、授業内テスト、提出物、筆記テスト、小テスト	5
2月	Sailing Our school life	<ul style="list-style-type: none"> ① 積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機会を作ろうとしている。 ② emphasis/pause/talking speed/で自分の伝えたいことを相手に理解させようとしている。 ③ 学校の好きなどころ、好きでないところを英語で表現できる。 ④ 比較的長い会話から必要な情報をいくつか抜き出すことができる。 	授業での取り組み、授業内テスト、提出物、筆記テスト、小テスト	6

3月	Sailing Studying abroad	①積極的に活動に取り組み、より多くの相手とコミュニケーションの機会を作ろうとしている。 ②emphasis/pause/talking speed/で自分の伝えたいことを相手に理解させようとしている。 ③海外留学に必要な表現を聞き取ることができる。	授業での取り組み、授業内テスト、提出物、筆記テスト、小テスト	2

大島海洋国際高等学校 令和2年度 科目名 海洋情報技術 年間授業計画

教科:水産 科目:海洋情報技術 対象:第1学年 A組・B組 2単位

教科担当者:A組B組:片桐康佑 ㊞

使用教科書:海洋情報技術

	指導内容 【年間授業計画】	科目海洋情報技術の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	配当時数
4月	【課題学習】 情報通信ネットワーク 自己紹介	・情報通信とは何か理解させる ・現在、使われている情報通信について理解させる	プリント課題提出	6相当
5月	【課題学習】 著作権	著作権の中身を理解する。 産業財産権を理解する。	プリント課題提出	6相当

6月	【課題学習】 情報モラル	情報モラルについて理解する。 情報モラルについて事例を基に考え、自分の意見を述べる事が出来る。	プリント課題提出	4相当
	【web授業】 情報とは	情報について理解する。	授業態度 ノート	web 2
7月	【通常授業】 ソフトウェア	ワードプロセッサとはどんな機能が使えるのか理解させる。 文字入力の反復練習をさせることで、文字入力の正確性 入力速度を上げる。 レポートを作成させることで、情報収集能力や情報をまとめる力を身につけさせる。	授業態度 課題作成	1
	【web授業】 著作権	著作権の中身を理解する。 産業財産権を理解する。	授業態度 ノート	web 3
8月				
9月	以降【通常授業】 ソフトウェア	・ワードプロセッサとはどんな機能が使えるのか理解させる 自己紹介文を作成させる事で文章を作成する能力を身につけさせる	授業態度 課題作成	2
		・ワードプロセッサとはどんな機能が使えるのか理解させる 文字入力の反復練習をさせることで、文字入力の正確性 入力速度が上がるようにする ・レポートを作成させることで、情報収集能力や情報をまとめる力を身につけさせる	授業態度 課題作成	3
		・ワードプロセッサとはどんな機能が使えるのか理解させる 文字入力の反復練習をさせることで、文字入力の正確性 入力速度が上がるようにする ・レポートを作成させることで、情報収集能力や情報をまとめる力を身につけさせる	授業態度 課題作成	2
		・ワードプロセッサとはどんな機能が使えるのか理解させる 文字入力の反復練習をさせることで、文字入力の正確性 入力速度が上がるようにする ・レポートを作成させることで、情報収集能力や情報をまとめる力を身につけさせる	授業態度 課題作成	2
		・ワードプロセッサとはどんな機能が使えるのか理解させる 文字入力の反復練習をさせることで、文字入力の正確性 入力速度が上がるようにする ・レポートを作成させることで、情報収集能力や情報をまとめる力を身につけさせる	授業態度 課題作成	1
10月	ソフトウェア	・ワードプロセッサとはどんな機能が使えるのか理解させる 文字入力の反復練習をさせることで、文字入力の正確性 入力速度が上がるようにする ・レポートを作成させることで、情報収集能力や情報をまとめる力を身につけさせる	授業態度 課題作成	2
		・ワードプロセッサとはどんな機能が使えるのか理解させる 文字入力の反復練習をさせることで、文字入力の正確性 入力速度が上がるようにする ・レポートを作成させることで、情報収集能力や情報をまとめる力を身につけさせる	授業態度 課題作成	2
	第2回定期考査	課題提出	授業態度	4

	第3回定期考査	課題提出	課題作成	+
1月	ソフトウェア	・プレゼンテーションソフトとはどんな機能が使用できるか 相手を意識したプレゼンテーションの表現方法を理解させる ・作成したプレゼンテーションを発表させることで、自分のプレゼンテーションに 足りない部分を意識させる	授業態度 課題作成 発表態度	2
		・プレゼンテーションソフトとはどんな機能が使用できるか 相手を意識したプレゼンテーションの表現方法を理解させる ・作成したプレゼンテーションを発表させることで、自分のプレゼンテーションに 足りない部分を意識させる	授業態度 課題作成 発表態度	2
		・プレゼンテーションソフトとはどんな機能が使用できるか 相手を意識したプレゼンテーションの表現方法を理解させる ・作成したプレゼンテーションを発表させることで、自分のプレゼンテーションに 足りない部分を意識させる	授業態度 課題作成 発表態度	2
		・プレゼンテーションソフトとはどんな機能が使用できるか 相手を意識したプレゼンテーションの表現方法を理解させる ・作成したプレゼンテーションを発表させることで、自分のプレゼンテーションに 足りない部分を意識させる	授業態度 課題作成 発表態度	2
12月	ソフトウェア	・表計算ソフトとはどんな機能が使用できるのか理解させる ・計算やグラフ、関数を使用させ、使用方法を理解させる	授業態度 課題作成	2
	第3回定期考査	課題提出	授業態度 課題作成	4
	ソフトウェア	・表計算ソフトとはどんな機能が使用できるのか理解させる ・計算やグラフ、関数を使用させ、使用方法を理解させる	授業態度 課題作成	2
	ソフトウェア	・表計算ソフトとはどんな機能が使用できるのか理解させる ・計算やグラフ、関数を使用させ、使用方法を理解させる	授業態度 課題作成	2
1月	水産や海洋における 情報の応用	・海洋分野と情報がどのような関わりを持っているか理解させる ・海洋の観測、測量システム 現在、海洋観測はどのような方法で行われているのか理解させる	授業態度 ノート 定期考査	2
		・海洋分野と情報がどのような関わりを持っているか理解させる ・船舶運航の計測、制御システム 海上の船舶間、陸上と海上間でどんな通信を行っているのか理解させる (GMDSS、AIS、GPS)	授業態度 ノート 定期考査	2
2月	水産や海洋における 情報の応用	・海洋分野と情報がどのような関わりを持っているか理解させる ・船舶運航の計測、制御システム 海上の船舶間、陸上と海上間でどんな通信を行っているのか理解させる (GMDSS、AIS、GPS)	授業態度 ノート 定期考査	2
		・海洋分野と情報がどのような関わりを持っているか理解させる ・船舶運航の通信システム 船舶で使用されている無線装置について理解させる (MF/HF、VHF、インマルサット、テレックス)	授業態度 ノート 定期考査	2

3 月	第4回 定期考査	水産や海洋における情報の応用について理解できているか考査によって確認する	定期考査	1

大島海洋国際高等学校 令和2年度 科目名 水産海洋基礎 年間授業計画

教科:(海洋)科目:(水産海洋基礎) 対象:(第1学年 A組 ~ B組) 単位数: 3単位

教科担当者:(A組:北原◎、片桐◎、佐藤◎)(B組:北原◎、片桐◎、倉澤◎)

使用教科書:水産海洋基礎

使用教材:

	指導内容 【年間授業計画】	科目水産海洋基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4 月	【課題学習】 基本教練 カッター部分名称	実習における注意事項の説明をし、実習に必要な基礎動作を理解させ、習得させる。 カッターの構造と各部名称・漕ぎ方を説明し、理解させる。	基本教練・カッター各部分名称の説明を通して主体的に取り組もうとする意欲・態度。	3相当
5 月	【課題学習】 海のあらまし 世界の海 日本の海	・「海のあらまし」;大洋の主な海流が気候や気象に及ぼす影響、生命の維持や物資の輸送、海洋資源などについての概要を理解させる。	・左記単元についての関心を持ち、基礎的な知識を身に付け、それらが国民生活に果たしている役割を理解している。	3相当
		・「海のあらまし」;大洋の主な海流が気候や気象に及ぼす影響、生命の維持や物資の輸送、海洋資源などについての概要を理解させる。		
		・「海のあらまし」;大洋の主な海流が気候や気象に及ぼす影響、生命の維持や物資の輸送、海洋資源などについての概要を理解させる。		

6月	【課題学習】 海のあらし 魚食文化	・「海のあらし」:海洋文化、魚食文化、食生活に果たす豊富な水産物の持つたんぱく質や有効成分についての概要を理解させる。	・左記単元についての関心を持ち、基礎的な知識を身に付け、それらが国民生活に果たしている役割を理解している。	3相当
	【web授業】 海のあらし 総復習	・「海のあらし」:海洋文化、魚食文化、食生活に果たす豊富な水産物の持つたんぱく質や有効成分についての概要を理解させる。		
7月	【通常授業】 基本教練 ガイダンス	実習における注意事項の説明をし、実習に必要な基礎動作を理解させ、習得させる。	基本教練を通して主体的に取り組もうとする意欲・態度。	6
	【web授業】 スキューバダイビング 器材説明 取り扱いについて	・スキューバダイビングの基本的な知識と技術を習得させる。 ・スキューバダイビング器材の名称、取り扱いについての知識を習得させる。	スキューバダイビング器材の名称について正しく理解している。取り扱いについてメモを取り、実習が始まる際に活かそうとする意欲・態度。	web 2
	第1回考査	海のあらし分野		
9月	ガイダンス 基本教練	・実習における注意事項の説明をし、実習に必要な基礎動作を理解させ、習得させる。	基本教練を通して主体的に取り組もうとする意欲・態度。	6
	スキューバダイビング ロープワーク	・スキューバダイビングの基本的な知識と技術を習得させる。 ・基本的な結索及び端止めの技能を身に付けさせる。	・スキューバダイビング実習を通して、主体的に取り組もうとする態度及び基礎的な技術・知識を理解している。 ・結索実習を通して、基本的な結びを理解し、適切に表現できる。	6
	スキューバダイビング ロープワーク	・スキューバダイビングの基本的な知識と技術を習得させる。 ・基本的な結索及び端止めの技能を身に付けさせる。	・スキューバダイビング実習を通して、主体的に取り組もうとする態度及び基礎的な技術・知識を理解している。 ・結索実習を通して、基本的な結びを理解し、適切に表現できる。	

10月				12	
11月	スキンドайビング ロープワーク	・スキンドайビングの基本的な知識と技術を習得させる。 ・基本的な結索及び端止めの技能を身に付けさせる。	実施せず	・スキンドайビング実習を通して、主体的に取り組もうとする態度及び基礎的な技術・知識を理解している。 ・結索実習を通して、基本的な結びを理解し、適切に表現できる。	6
	第2回考査				
	カッター漕艇練習	・カッター漕艇練習及び、舟艇の基礎的な知識と技術を理解させると共に、集団の一員として必要な協調性、体力、気力を養い、海と船に対する理解を深めさせる。	・カッター漕艇練習を通して、主体的に取り組もうとする態度及び漕艇練習に関する基礎的な技術を理解している。	6	
12月	カッター漕艇練習	・カッター漕艇練習及び、舟艇の基礎的な知識と技術を理解させると共に、集団の一員として必要な協調性、体力、気力を養い、海と船に対する理解を深めさせる。		・カッター漕艇練習を通して、主体的に取り組もうとする態度及び漕艇練習に関する基礎的な技術を理解している。	6
	第3回考査	カッター部分名称			
1月	座学	・「水産業と海洋関連産業のあらまし」：漁船など船の種類と役割、構造に関する基礎的な事項及び操船について実習船と関連させ手と利上げ、船の歴史や文化、安全な運航についての概要を理解させる。		・左記単元についての関心を持ち、基礎的な知識を身に付け、それらが国民生活に果たしている役割を理解している。	3
	座学	・「水産業と海洋関連産業のあらまし」：日本の水産物需給の現状や今後の見通しについて概要を理解させる。			3
		・「水産業と海洋関連産業のあらまし」：海洋性レクリエーション、漁場・港湾造成などを含む沿岸域の整備・開発・調査など海洋関連産業の現状について概要を理解させる。			3

2月	座学 天気図	・「水産業と海洋関連産業のあらまし」：海洋性レクリエーション、漁場・港湾造成などを含む沿岸域の整備・開発・調査など海洋関連産業の現状について概要を理解させる。 ・天気図の基本的な見方・書き方とおして、海洋で活動する上で大きな影響を与える気象についての概要を理解させる。	・左記単元についての関心を持ち、基礎的な知識を身に付け、それらが国民生活に果たしている役割を理解している。 ・天気図について関心を持ち、基礎的な知識を身に付けている。	3
		・天気図の基本的な見方・書き方とおして、海洋で活動する上で大きな影響を与える気象についての概要を理解させる。		3
		・天気図の基本的な見方・書き方とおして、海洋で活動する上で大きな影響を与える気象についての概要を理解させる。		3
3月	座学 天気図	・天気図の基本的な見方・書き方とおして、海洋で活動する上で大きな影響を与える気象についての概要を理解させる。		3

大島海洋国際高等学校 令和2年度 科目名 総合(日本文化) 年間授業計画

教科:(国際)科目:(日本文化) 対象:(第1学年A組~B組)

1単位

教科担当者:須賀建明・柴田一也・竹内聖人・高沼大貴・白鳥顕士・山口哲平

使用教科書:なし

使用教材 :なし

	指導内容 【年間授業計画】	国語総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時間数
4月	【課題学習】 日本文化の特徴	ガイダンス・地域理解 地元大島の地域文化を通して日本文化を学ぶ	・日本文化を多角的視点から捉えることができることに気付かせる。 ・毎時扱った内容について、自分の意見や考えを持たせるように指導する。	2相当
5月	【課題学習】 日本文化の特徴	・公民科的、地歴科的、音楽科的の視点を通して日本文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの体験等を通して日本文化の特質を理解する。 (例)将棋、百人一首、三線演奏、折り紙、綾取り等を通した日本文化の特質の追求	・日本文化を多角的視点から捉えることができることに気付かせる。 ・毎時扱った内容について、自分の意見や考えを持たせるように指導する。	4相当
		・公民科的、地歴科的、音楽科的の視点を通して日本文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの体験等を通して日本文化の特質を理解する。	・日本文化を多角的視点から捉えることができること	

6月	【web授業】 日本文化の特徴	かの分野を設定し、それらの体験等を通して日本文化の特徴を理解する。 (例)将棋、百人一首、三線演奏、折り紙、綾取り等を通した日本文化の特徴の追求	に気付かせる。 ・毎時扱った内容について、自分の意見や考えを持たせるように指導する。	4相当
7月	【web授業】 日本文化の特徴	・公民科的、地歴科的、音楽科的視点を通して日本文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの体験等を通して日本文化の特徴を理解する。 (例)将棋、百人一首、三線演奏、折り紙、綾取り等を通した日本文化の特徴の追求	・日本文化を多角的視点から捉えることができることに気付かせる。 ・毎時扱った内容について、自分の意見や考えを持たせるように指導する。	4相当
9月	【以降通常授業】 日本文化の特徴	・公民科的、地歴科的、音楽科的視点を通して日本文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの体験等を通して日本文化の特徴を理解する。 (例)将棋、百人一首、三線演奏、折り紙、綾取り等を通した日本文化の特徴の追求	・日本文化を多角的視点から捉えることができることに気付かせる。 ・毎時扱った内容について、自分の意見や考えを持たせるように指導する。	2
10月	地域の文化に触れる	・公民科的、地歴科的、音楽科的視点を通して日本文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの体験等を通して日本文化の特徴を理解する。 (例)将棋、百人一首、三線演奏、折り紙、綾取り等を通した日本文化の特徴の追求	・日本文化を多角的視点から捉えることができることに気付かせる。 ・毎時扱った内容について、自分の意見や考えを持たせるように指導する。	4
11月	地域の文化に触れる	・公民科的、地歴科的、音楽科的視点を通して日本文化の中からいくつかの分野を設定し、それらの体験等を通して日本文化の特徴を理解する。 (例)将棋、百人一首、三線演奏、折り紙、綾取り等を通した日本文化の特徴の追求	・日本文化を多角的視点から捉えることができることに気付かせる。 ・毎時扱った内容について、自分の意見や考えを持たせるように指導する。	4
12月	地域の文化に触れる	・大島の地域文化(御神火太鼓)について、地域の識者を招聘し実技を含めて学ぶ。	・日本文化を多角的視点から捉えることができることに気付かせる。 ・毎時扱った内容について、自分の意見や考えを持たせるように指導する。	4
1月	地域の文化に触れる	・大島の地域文化(御神火太鼓)について、地域の識者を招聘し実技を含めて学ぶ。	・日本文化を多角的視点から捉えることができることに気付かせる。 ・毎時扱った内容について、自分の意見や考えを持たせるように指導する。	4
2月	地域の文化に触れる	・大島の地域文化(御神火太鼓)について、地域の識者を招聘し実技を含めて学ぶ。	・日本文化を多角的視点から捉えることができることに気付かせる。 ・毎時扱った内容について、自分の意見や考えを持たせるように指導する。	2
3月	地域の文化に触れる	・大島の地域文化(御神火太鼓)について、地域の識者を招聘し実技を含めて学ぶ。	・日本文化を多角的視点から捉えることができることに気付かせる。 ・毎時扱った内容について、自分の意見や考えを持たせるように指導する。	2

年間授業計画様式例

大島海洋国際高等学校 令和2年度 総合的な学習の時間 年間授業計画

教科：総合的な学習の時間(人間と社会) 単位数：1単位

対象学年組：第1学年A組・B組

教科担当者：(A・B組：陣野・北原・佐藤・関谷・加藤)

使用教科書：(『人間と社会』)

使用教材：()

	指導内容	総合的な学習の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4	【課題学習】体験活動事前学習	大島の歴史・文化・風土・自然・経済・社会について学習し、地域社会への理解を深める。清掃地域を把握する。	授業への取り組み状況、出席状況、提出物、面接等を通して、総合的に評価する。 適宜個人内評価を行う。	4 相当

月				
5月	【課題学習】人間と社会演習	【17章 対立から国際平和を考える】	授業への取り組み状況、出席状況、提出物、面接等を通して、総合的に評価する。 適宜個人内評価を行う。	4相当
6月	【Web授業】人間と社会演習	【17章 対立から国際平和を考える】	授業への取り組み状況、出席状況、提出物、面接等を通して、総合的に評価する。 適宜個人内評価を行う。	Web 2
7月	【Web授業】人間と社会演習	【17章 対立から国際平和を考える】 17章のまとめとして、夏季研修内で文化の多様性について大学・企業等での講義を実施	授業への取り組み状況、出席状況、提出物、面接等を通して、総合的に評価する。 適宜個人内評価を行う。	Web 2

8月				
9月	<p>【以下通常授業】夏季研修まとめ</p> <p>体験活動</p>	<p>夏季研修についてまとめを行い、各自の興味関心に応じて更に深く研究する</p> <p>地域清掃活動⑤</p>	<p>授業への取り組み状況、出席状況、提出物、面接等を通して、総合的に評価する。</p> <p>適宜個人内評価を行う。</p>	<p>2</p> <p>2</p>
10月	<p>人間と社会演習</p> <p>体験活動</p>	<p>【11章 支え合う社会】</p> <p>平成25年10月の大島土砂災害について学び、地域の高校生としてできることを考える。</p> <p>地域清掃活動⑥</p>	<p>授業への取り組み状況、出席状況、提出物、面接等を通して、総合的に評価する。</p> <p>適宜個人内評価を行う。</p>	<p>2</p> <p>2</p>
11月	<p>人間と社会演習</p>	<p>【11章 支え合う社会】</p> <p>【3章 働くことの意義】</p>	<p>授業への取り組み状況、出席状況、提出物、面接等を通して、総合的に評価する。</p> <p>適宜個人内評価を行う。</p>	<p>2</p> <p>2</p>

12月	人間と社会演習 体験活動	【3章 働くことの意義】 地域清掃活動⑦	授業への取り組み状況、出席状況、提出物、面接等を通して、総合的に評価する。 適宜個人内評価を行う。	2 (3)
1月	体験活動事後学習	1年間の体験活動についてまとめる。	授業への取り組み状況、出席状況、提出物、面接等を通して、総合的に評価する。 適宜個人内評価を行う。	2
2月	まとめ	学習してきたことから各自の興味関心に合わせより深く研究活動を行う。	授業への取り組み状況、出席状況、提出物、面接等を通して、総合的に評価する。 適宜個人内評価を行う。	2
	まとめ	学習してきたことから人間と社会について研究活動を行う。	授業への取り組み状況、出席状況、提出物、面接等を通して、総合的に評価する。 適宜個人内評価を行う。	2

3
月